

3

2007年

# 組合広報

NO. 483

よろこばれ 期待され 魅力ある

 **東京都鍍金工業組合**  
 **東京鍍金公害防止協同組合**

URL <http://www.tmk.or.jp>

|                  |                                   |    |
|------------------|-----------------------------------|----|
| <b>わたしの意見</b>    | 訓練校運営・技能検定実施について <b>副理事長 志田和陽</b> | 1  |
| <b>役員会委員会</b>    | 理事長日誌、組合・関連団体行事予定                 | 3  |
|                  | 工組 若林環境大臣にほう素ふっ素等の暫定排水基準の延長要望     | 4  |
|                  | 大村理事長賀詞交歓会での年頭挨拶(訂正)              | 6  |
|                  | ミヤマ(株)新代表取締役が新任挨拶に組合来訪            |    |
| <b>あなたの予定表</b>   | 4月の環研・協組集荷日程ほか                    |    |
|                  | 「めっき工場で使えるふっ素処理技術」小冊子発行           | 8  |
|                  | 亜鉛の下水排除基準が強化されますー東京都下水道局ー         | 10 |
|                  | 平成19年度第38期訓練校年間日程表                | 12 |
|                  | 訓練校4月授業案内                         | 14 |
|                  | ME T E C 盛況裡に閉幕 訃報                | 15 |
|                  | 全鍍連平成18年度第3四半期景況調査(東京組合分)         | 16 |
|                  | 東京都中小企業1月景況、企業統計調査協力へのお礼          | 19 |
|                  | 表面技術協会総会 棚橋会長再選、SURTECH07、めっき部会予定 | 20 |
|                  | 第17回表団協セミナー                       | 24 |
|                  | 機材工 川上 川下構築支援セミナー                 | 25 |
|                  | 確実な退職金なら中退共制度で                    | 27 |
|                  | 十日会総会他、「旅のスケッチ万華鏡Ⅲ」石川進造展案内        | 29 |
|                  | 組合員紹介ホームページ募集案内                   | 30 |
| <b>ピックアップ</b>    | 色調自由にめっきほか                        | 32 |
| <b>お気に入りの散歩道</b> | 国立新美術館 <b>板倉富美子(城南支部)</b>         | 34 |
| <b>支部通信</b>      | 城南支部、城西支部(由田猛氏都知事表彰受章祝賀会)         | 35 |
|                  | 中国語 これはなにかな? 「蒙太奇」                | 40 |

## 訓練校運営・ 技能検定実施について

副理事長 志田和陽



平素より東京都鍍金工業組合の技能教育委員会、高等職業訓練校、東京鍍金公害防止協同組合の城南処理センター、運営委員会にご高配ご協力を賜りますことを厚く御礼を申し上げます。また、日増しに暖かさを加える季節のなか皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜びを申し上げます。

訓練校におきましては、平成18年度の第37期訓練生が修得する科目の全課程を終え3月16日の修了式を迎えることが出来ました。各派遣企業からお預かりした大切な生徒達を無事に送り出し訓練校の八幡順一校長共々、先ずはひと安心しているところでございます。卒業生は、これからも同窓の諸君同士いつまでも仲良く訓練校で学んだ知識や技能を活かし仕事の場で競い合ってもらいたいと思います。

先年より着工しておりました訓練校の実習及び技能検定試験に使用いたします設備機材の更新も順調に進んでおり、来年度には、総て竣工の予定です。ここ数年の間、訓練校は募集定員を上回る応募を頂いております。また技能検定実技試験の受験者も多く、2日間の日程で対応出来る限界の状態で開催されております。これは伝統のある訓練校と検定試験の運営にこれまで携わってきた委員会の先輩諸氏、講師の皆様、ご指導頂いている東京都、協会そして現在の関係者各位の方々総てが今日まで地道で献身的な努力を続けてきた成果だと認識しております。訓練校は、人材育成の施設として、また技能検定実技試験は、技能士資格の取得を通じて企業の発展と従業員の技能向上に寄与しており、両事業共にめっき業界に無くてはならない存在となっていると確信を致しております。

技能教育委員会は訓練校の運営、電気めっき実技国家試験の受託など東京都鍍金工業組合の内に在ってなお独立性、主体性の強い組織であります。委員の構成をみましても殆んどの方が10年からそれ以上の経験年数で在任されています。新しく選任された方も検定試験の担当を確実に任せられるまで成長するには何年も掛かります。訓練校の技能照査試験、実技検定試験は、検定委員そしてめっきセンターと環境科学研究所職員全員の連携作業で行われ、各人が自分の役割と責任を遂行するだけではなく全体の流れを把握し行動しなければなりません。担当が同じ試験課題以外の委員とも連絡しあい実施されています。全員がお互いの分担を理解、協調し助け合わなければ事に当たることは出来ません。常日頃から委員同士の付き合いも円滑に実施するための重要な要素となります。余談となりますが、その為でしょうか、委員会が散会した後、必ず委員の皆さんと御茶ノ水界隈の居酒屋で深夜まで酒ばかり飲んでいたことが記憶に残ります。

---

私は、今期をもちまして技能教育委員長を退任致しますが、周囲の環境や有能な人材に恵まれた良い時期に委員長をやらせて頂いたと感謝しております。本当に運が良かったと思います。

最後に一言申し上げたいことは、委員の皆さんは、これからも試験開始前の緊張感と試験官としての自覚、めっき業界の将来を担う若者達を育成する責任の重さを忘れずに、また礼儀を守り規律のある委員会でも在り続けて頂きたいことです。挨拶も出来ない人間が技能教育は語れないと思います。まだまだ改善、改良すべき点ややり残した事も多々ありますが、後任の新委員長に託すことに致します。

尚、昨年平成 18 年 5 月の総代会より東京鍍金公害防止協同組合の運営委員長を担当致すこととなりました。協同組合設立の基本理念と趣旨に則り環境保護と目先の営利にとらわれず加入組合員の利益を最優先に考えた堅実な運営を致してまいる所存です。大役の責任を痛感しつつもめっき業界のために何を行うべきか、何を以って貢献すべきか浅学非才の身でございますが、重責をまっとうすべく努力いたす所存でございます。皆様のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

## 大村理事長日誌



## 2月

1日(木)都議会自民党、公明党へ排水規制・  
土壌汚染問題で要望

3日(土)城南連合支部賀詞交歓会  
7日(水)東京都中小企業団体中央会打合せ  
正副理事長会・理事会  
10日(土)愛知組合・笠間則文副理事長黄綬  
褒章受章祝賀会  
全鍍連卓越した技能者選考委員会  
17日(土)由田猛副理事長都知事表彰受章祝  
賀会  
19日(月)松原忠義都議賀詞交歓会・大田区  
長選出馬緊急報告会  
20日(火)若林環境大臣と面会、ほう素ふつ  
素等暫定基準の延長要望  
21日(水)METEC'07  
22日(木)日新電化㈱新井家お通夜  
27日(火)副理事長候補者推薦委員会  
総財務委員会

## ～組合・関連団体行事予定～

4月3日(火)広報委員会  
4月4日(水)正副理事長会・理事会  
4月5日(木)環境委員会  
4月6日(金)訓練校入校式  
連合青年部会総会(浅草ビューホテル)  
4月9日(月)十日会例会  
4月18日(水)監事会  
4月22日(日)健保ホリデーウォーキング  
目白駅前→学習院大学→鬼子母神→雑  
司が谷墓地→旧宣教師館→護国寺→東  
池袋中央公園→JR池袋駅  
4月24日(火)城北支部総会  
4月25日(水)正副理事長会・理事会  
4月26日(木)城南支部総会  
品川支部総会

4月27日(金)中央支部総会  
全鍍連総務委員会  
5月25日(金)正副理事長会  
総代会  
5月29日(火)全鍍連常任理事会・総会・理事  
会  
7月1日(日)第10回親睦ゴルフ大会(富士  
レイクサイドカントリー倶楽部〒  
401-0320 山梨県南都留郡鳴沢村字富  
士山6545の6 TEL0555-86-3111代)  
7月28・29日(土日)技能検定実技試験

## 東鍍工組 若林環境大臣に

# ほう素・ふっ素等の暫定排水基準の延長要望

東京都鍍金工業組合正副理事長等執行部は、公明党のお力添えを頂いて 2 月 20 日(木)午前 11 時 30 分、霞が関の環境省・若林正俊大臣と面会、6 月 30 日で期限切れとなるほう素・ふっ素等の暫定排水基準について、未だ処理技術が確立されていない現状から再延長していただくよう要望(別掲)した。

当日は、大村功作理事長、姫野正弘副理事長、川上洋一副理事長、八幡順一副理事長、志田和陽副理事長、青木治郎工組専務理事、小原俊幸協組専務理事、全鍍連の鈴木喜代壽副会長、神谷文吾環境対策委員長、公明党の太田昭宏衆院議員(党代表)、加藤修一参院議員、山口なつお参院議員、都議会公明党の石井義修幹事長、鈴木貫太郎議員、藤井一議員、野上純子議員、谷村孝彦議員が参加した。

はじめに大村理事長が若林大臣に要望書を手渡すとともに、めっき業界の現状につ

いて「前回の国会で、安価で容易に処理出来る技術が開発されていない状況から暫定基準を設定して頂いたが、未だに処理技術が開発されていない。またほう素を処理するには高額な設備投資とスペースを必要とし我々中小零細の企業としては成り立たなくなる。さらに暫定基準の再延長をお願いしたい」と要望した。

公明党の太田代表をはじめ議員から「めっき業界は日本のものづくりを支える基幹産業であり、環境面にも努力している。業界が容易に導入できる安価な技術開発を目指して、暫定基準の期間の再延長するようお願いしたい」とフォローして頂いた。

若林環境大臣は、「要望書の写しを事前に拝見しており、趣旨は充分理解している。今日まさにヒアリングが行われており、各業種ごとの意見を聞いているが、こうして業界代表のみなさんの意見も重く受け止めている。排水基準に係るもので慎重に対応



////////////////////  
していかなければいけないが、地域、国を  
支える産業が成り立たない状況を作っては  
いけない。業界の努力の状況などを伺いな

がら現実的な対応をしていきたい」旨の説明を頂いた。

平成 19 年 2 月 20 日

環境大臣 若林正俊 様

東京都鍍金工業組合  
理事長 大村 功作

## ほう素・ふっ素等に係る暫定排水基準適用期間の再延長について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、水質汚濁防止法に基づく排水基準のうち、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、アンモニア・アンモニウム化合物・亜硝酸化合物及び硝酸化合物(以下「ほう素・ふっ素等」という。))については、平成 13 年に一律排水基準が設定され、同年 7 月 1 日から施行されましたが、直ちに一律排水基準を達成することが困難な工場・事業場(電気めっき業を含む)には平成 16 年 6 月 30 日まで暫定排水基準が適用されました。

その後、適用期限到来にあたり、環境省でこれらの工場等の排水処理状況を確認したところ、一部の業種(電気めっき業を含む)については技術がいまだ開発・実用化の途上にあり、直ちに一律排水基準を達成することが困難な状況にあったことから、平成 16 年 3 月、一部の基準を強化したうえで、暫定排水基準の適用を平成 19 年 6 月 30 日まで延長されることとなりました。

今般、再び適用期限の到来を迎えるわけですが、処理技術に関してはこの 3 年間で大きな進展があったとはいえません。一、二の例を挙げますと、環境省では平成 17 年度にほう素等排水処理技術に関する実証実験を実施していただき、都においては、産業技術研究所で開発していただいた「クエン酸ニッケルめっき」の実用化に向けて、17～18 年度に当組合員事業所との共同研究を進めているところです。しかし、いずれも、いまだ実用化には至っておりません。

このまま、期限切れを迎えて規制を一層強化されるか、一律排水基準を適用されるようなこととなつては、私どもの業界としては対応する術が見当たりません。

つきましては、貴職におかれては、わが国のモノづくりを支える基盤技術産業であるめっき業の使命について深いご理解をいただき、上記のような現状を踏まえて、簡易・廉価な処理技術が開発されるまで、ほう素・ふっ素等の暫定排水基準に係る適用期間を再延長する措置を講じていただきたく、ここにお願い申し上げます。

## 大村理事長 賀詞交歓会での年頭挨拶(訂正)

広報2月号「東鍍工組・公防協組・12支部合同 平成19年新年賀詞交歓会」(1月18日(木)/サンシャインシティプリンスホテル)における大村理事長の年頭挨拶の中で、重要な部分が抜けておりました。お詫びしますとともに、改めてその部分を掲載します。

「我々業界の最大の課題は環境問題で、とりわけ土壌汚染問題が最重要課題となっています。はじめの土壌調査に大きな費用がかかり、さらに調査結果によっては浄化処理に見当もつかない費用がかかるといわれます。これら問題に対して組合は東京都にご支援をお願いしてきましたが、昨年800万円を予算化して土壌汚染対策委員会を立ち上げて頂き、お蔭様で我々の要望を東京都は親身に前向きに検討して頂きました。さらに今年度新たに土壌汚染問題を中心として1億8,000万円の予算をつけて頂くことになり、我々事業所が動くのではなく、東京都ご自身が調査をして頂きその調査費用についても東京都でもって頂けるということで大変に期待しています。この措置については都議会自民党の先生方のお力添えを得、東京都産業労働局のご理解ご支援を頂いたことを厚くお礼申し上げます」



## ミヤマ(株)新代表取締役が新任挨拶に組合来訪

環境保全総合企業のミヤマ株式会社が1月の代表取締役の異動に関して、3月13日(火)午後、新代表取締役の南 克明氏(前代表取締役副社長)が、企画部部长・松沢浩一氏、東京営業所長・大谷博之氏と共に東京鍍金公害防止協同組合に新任挨拶に来訪された。

組合は、大村功作理事長、志田和陽担当副理事長と小原俊幸専務理事が湯島のめっきセンターで応対した。ミヤマ(株)の前代表取締役・南 栄嗣氏は代表取締役会長に就任された。



## 4月 あなたの予定表

| 日  | 曜 | 役員会・委員会他   | 環研集荷(ブロック長) | 協 組 集 荷  | メ モ         |
|----|---|------------|-------------|----------|-------------|
| 1  | 日 |            |             |          |             |
| 2  | 月 |            |             |          |             |
| 3  | 火 | 広報委員会      | 大田支部        | 城東支部     |             |
| 4  | 水 | 正副理事長会・理事会 |             | 城北支部     |             |
| 5  | 木 | 環境委員会      | 品川支部・大田支部   | 中央支部     |             |
| 6  | 金 | 訓練校入校式     |             | 葛飾支部     | 連合青年部会総会    |
| 7  | 土 |            |             |          |             |
| 8  | 日 |            |             |          |             |
| 9  | 月 |            | 城南支部        | 目黒・世田谷地区 | 十日会例会       |
| 10 | 火 |            | 城西支部        | 足立支部     |             |
| 11 | 水 |            | 城西支部・城北支部   |          |             |
| 12 | 木 |            |             | 西部支部     |             |
| 13 | 金 |            | 中央支部・本所支部   | 葛飾支部     |             |
| 14 | 土 |            |             |          |             |
| 15 | 日 |            |             |          |             |
| 16 | 月 |            |             |          |             |
| 17 | 火 |            | 向島支部        | 品川地区     |             |
| 18 | 水 | 監事会        |             | 向島支部     |             |
| 19 | 木 |            | 西部支部        | 本所支部     |             |
| 20 | 金 |            |             | 葛飾支部     |             |
| 21 | 土 |            |             |          |             |
| 22 | 日 |            |             |          | 健保ウォーキング    |
| 23 | 月 |            | 城東支部・葛飾支部   |          |             |
| 24 | 火 |            |             | 蒲田・大森地区  | 城北支部総会      |
| 25 | 水 | 正副理事長会・理事会 | 葛飾支部        | 城西支部     |             |
| 26 | 木 |            |             |          | 城南支部、品川支部総会 |
| 27 | 金 |            | 足立支部        | 葛飾支部     | 中央支部総会      |
| 28 | 土 |            |             |          |             |
| 29 | 日 | みどりの日      |             |          |             |
| 30 | 月 | (振替休日)     |             |          |             |

(役員会・委員会等は変更する場合がありますので、本部からの通知をご確認下さい)

## 東鍍工組

# 「めっき工場で使えるふっ素処理技術」小冊子発行

東京都鍍金工業組合は、このほど平成 18 年度東京都中小企業経営革新特別対策事業として「めっき工場で使えるふっ素処理技術」の小冊子をまとめて発行、組合員に配布した。

ふっ素・ほう素等は平成 13 年に一律排水基準が設定され、同年 7 月から施行されたが、一律排水基準を達成することが困難な事業場には暫定排水基準が適用された。組合としてもこの課題に対して前向きに取り組んでいこうと、平成 17 年東京都経営革新特別対策事業として、組合環境科学研究所がふっ素処理技術の研究開発と取り組んできた。その成果をもとに、平成 18 年度東京都中小企業経営革新特別対策事業として組合は新たに“ふっ素処理技術小冊子作成委員会（川上洋一委員長）”を立ち上げ、平成 18 年 8 月 29 日から 19 年 1 月 16 日の計 5 回委員会を開催し、ふっ素の発生源から、ふっ素が容易に処理できるような処理技術等を検討し、この啓蒙、普及を図るための小冊子の作成を進めてきた。

小冊子は、はじめに環境基準から、環境保全の動向と環境対策の必要性、ふっ素処理対策の基本、ふっ素の発生源、ふっ素排水処理方法、平成 17 年度経営革新特別事業－ふっ素処理技術の開発－などを掲載している。小冊子から一部を抜粋紹介する。

## 平成 17 年度経営革新特別事業・ふっ素処理技術の研究内容

廃水中のふっ素をフッ化カルシウムとして沈殿除去する処理方法について諸条件の検討を行いました。



（ふっ素処理技術小冊子作成委員会）



カルシウムの添加量は、理論量に対して過剰に加えることが望ましいと考えられます。アルミニウムやマグネシウム等の無機凝集剤の添加は、ふっ素の除去に一定の効果が現れることが確認されましたが、スラッジ量の増加を招く恐れがあるので注意しなければなりません。無機凝集剤の効果としてはふっ素除去効率の

安定性及びスラッジの凝集性の向上が上げられます。

pH と反応時間に関しては、pH10 以上を 10 分程度維持すれば十分です。しかし、使用する薬品によっては溶解に時間がかかり、また処理液中に銅や亜鉛、ニッケル等の重金属を多く含有している場合には pH の変動が大きく、手間がかかる事もあります。使用する薬品を予め溶液化し一定量ずつ加えること、可能な限りふっ素系の廃水のみで処理と行うなどの対策が必要です。

カルシウムを使用するふっ素の処理法にある程度の効果は確認されました。しかし、スラッジ量の問題やホウフッ化物に対しての処理を考えると、今後の検討課題も多分にあります。

## ふっ素排水処理方法

### 1. ふっ素処理前提条件

シアンや6価クロムを処理するように、分別排水、分別処理でないとふっ素を基

準値以下に落とすことは難しい。実験の結果では次のような方法をとる必要があります。

### 2. 排水処理

①貯槽を設ける。通常の排水処理でのふっ素濃度は約 500mg/L～1,000mg/L。

②水酸化カルシウム( $\text{Ca}(\text{OH})_2$ )を添加し、pH を 10 にし 30 分攪拌します。

(オーバーランしないよう pH に注意します)

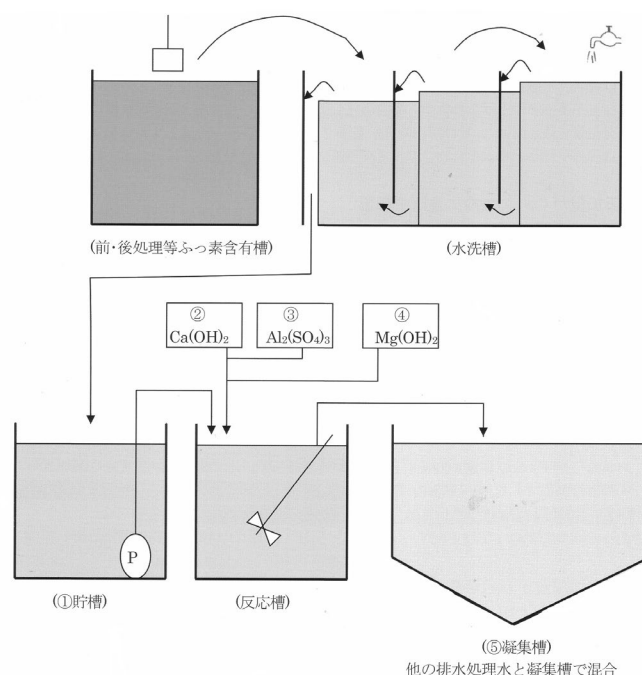
③硫酸アルミニウム( $\text{Al}_2(\text{SO}_4)_3$ )10%を添加、10 分攪拌。

④水酸化マグネシウム( $\text{Mg}(\text{OH})_2$ )10%を添加、10 分攪拌。

⑤他の処理をした排水と凝集槽で合流します。

(pH が 10 程度で沈殿を作っていますので、pH が酸性側とは合流させないで下さい) ふっ素の処理時間は約 1 時間。

⑥通常の沈降分離と同一で処理を行います。



# 亜鉛の下水排除基準が強化されます

東京都下水道局

東京都下水道局は、このほど亜鉛の下水排除基準の強化について事業者へ次のように通知した。

従来の下水排除基準 5mg/L 以下⇒改正後の下水排除基準 2mg/L 以下

## ○改正の経緯

水生生物保全の観点から、平成 15 年に環境基準が設定されました。これを受けて、平成 18 年 12 月に排水基準を定める省令(環境省令)及び下水道法施行令が改正され、基準が強化されました。

これらの法令の改正にあわせて、東京都下水道条例を同一の基準に改める予定です。

## ○ 適用期日等

|          |                     |
|----------|---------------------|
| 新設の特定事業場 | 平成 18 年 12 月 11 日から |
| 既設の特定事業場 | 平成 19 年 6 月 11 日から  |
| 非特定事業場   | 平成 19 年 4 月 1 日から   |

- ・特定事業場:水質汚濁防止法に規定する特定施設及びダイオキシン類対策特別措置法に規定する水質基準施設を設置している事業場
- ・新設:平成 18 年 12 月 11 日以降に設置された事業場
- ・既設:平成 18 年 12 月 11 日にすでに設置されている事業場

## ○ 暫定基準について

改正後の基準に対応することが著しく困難と認められる業種に属する特定事業場については、下水道法施行令の施行後 5 年間(平成 23 年 12 月 10 日まで)は暫定基準(5mg/L 以下)が適用されます。

暫定基準が適用される業種と許容限度(5mg/L)

業種その他の区分

- ・電気めっき業
- ・溶融めっき業
- ・非鉄金属第一次製錬・精製業
- ・非鉄金属第二次製錬・精製業

- ・無機顔料製造業
- ・無機化学工業製品製造業(ソーダ工業、無機顔料製造業、圧縮ガス・液化ガス製造業及び塩製造業を除く)
- ・表面処理鋼材製造業
- ・建設業・建築用金属製品製造業(表面処理を行うものに限る)
- ・金属鉱業

詳しくは、所管する管理事務所業務課水質規制係又は施設管理部排水設備課排水指導係までお問合せ下さい。

このお知らせの内容に関する問い合わせ先

| 事務所名                  | 所在地・電話                            | 所管区域                     |
|-----------------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 中部管理事務所<br>業務課水質規制係   | 千代田区大手町 2-6-2<br>電話 03-3270-8323  | 千代田区、中央区、港区(台場を除く)、渋谷区   |
| 北部第一管理事務所<br>業務課水質規制係 | 台東区蔵前 2-1-8<br>電話 03-5820-4350    | 文京区、台東区、豊島区、荒川区          |
| 北部第二管理事務所<br>業務課水質規制係 | 足立区中川 5-1-1<br>電話 03-5697-2453    | 北区、足立区                   |
| 東部第一管理事務所<br>業務課水質規制係 | 江東区東陽 7-1-14<br>電話 03-3645-9648   | 墨田区、江東区、港区台場、品川区東八潮      |
| 東部第二管理事務所<br>業務課水質規制係 | 江戸川区中央 3-4-20<br>電話 03-5662-7119  | 葛飾区、江戸川区                 |
| 西部第一管理事務所<br>業務課水質規制係 | 新宿区上落合 1-2-40<br>電話 03-3366-6958  | 新宿区、中野区、杉並区              |
| 西部第二管理事務所<br>業務課水質規制係 | 北区浮間 4-27-1<br>電話 03-3969-3352    | 板橋区、練馬区                  |
| 南部管理事務所<br>業務課水質規制係   | 大田区雪谷大塚町 13-26<br>電話 03-5734-5045 | 品川区(東八潮を除く)、大田区、目黒区、世田谷区 |
| 施設管理部<br>排水設備課排水指導係   | 新宿区西新宿 2-8-1<br>電話 03-5320-6585   | 23 区全域                   |

# 平成 19 年度(2007 年度)第 38 期生「東鍍工組高等職業訓練校」年間日程表

| 回  | 月日曜     | 講 義 科 目・講 義 時 間・担 当 講 師                    |      |                                                |           |
|----|---------|--------------------------------------------|------|------------------------------------------------|-----------|
|    |         | A タイム (PM2:00～5:00)<br>B タイム (PM5:00～8:00) | 講 師  | ● C タイム (PM5:00～8:30)<br>※ D タイム (PM5:00～9:20) | 講 師       |
|    | 4. 6 金  |                                            |      | <入校式> (18:00～19:30)                            |           |
| 1  | 4. 10 火 | めっき用途                                      | 神戸徳蔵 | 基礎化学①                                          | 志賀孝作      |
| 2  | 4. 13 金 | 基礎化学②                                      | 志賀孝作 | クラス会                                           | 八幡順一 高倉利守 |
| 3  | 4. 17 火 | 前処理①                                       | 柳田和夫 | 電気化学①                                          | 戸井崎茂      |
| 4  | 4. 20 金 | 前処理②                                       | 柳田和夫 | 電気化学②                                          | 戸井崎茂      |
| 5  | 4. 24 火 | 前処理③                                       | 柳田和夫 | 電気化学③                                          | 戸井崎茂      |
| 6  | 4. 27 金 | 前処理④                                       | 柳田和夫 | ニッケルめっき①                                       | 土井 正      |
| 7  | 5. 8 火  | 機械加工                                       | 森 紀年 | ニッケルめっき②                                       | 土井 正      |
| 8  | 5. 11 金 | 塑性加工                                       | 玉置賢次 | ニッケルめっき③                                       | 土井 正      |
| 9  | 5. 15 火 | 加工図面の読み方①                                  | 岩永正彦 | ニッケルめっき④                                       | 土井 正      |
| 10 | 5. 18 金 | 加工図面の読み方②                                  | 岩永正彦 | 電気化学④                                          | 戸井崎茂      |
| 11 | 5. 22 火 | ハルセル試験①                                    | 志賀孝作 | 電気化学⑤                                          | 戸井崎茂      |
| 12 | 5. 25 金 | 電気設備                                       | 内野 孝 | ●実技 (応用 1)                                     | 環研職員      |
| 13 | 5. 29 火 | ハルセル試験②                                    | 土井 正 | ●実技 (基本 1)                                     | 水元和成、環研   |
| 14 | 6. 1 金  | 電気工学①                                      | 石川 進 | ●実技 (基本 2)                                     | 土井 正、環研   |
| 15 | 6. 5 火  | 電気工学②                                      | 石川 進 | ●実技 (応用 2)                                     | 環研職員      |
| 16 | 6. 8 金  | 電気工学③                                      | 石川 進 | ●実技 (基本 3)                                     | 水元和成、環研   |
| 17 | 6. 12 火 | と粒・研磨加工①                                   | 星野芳明 | ●実技 (基本 4)                                     | 吉本圭子、環研   |
| 18 | 6. 15 金 | と粒・研磨加工②                                   | 星野芳明 | ●実技 (応用 3)                                     | 環研職員      |
| 19 | 6. 19 火 | 腐食防食①                                      | 矢部 賢 | ●実技 (基本 5)                                     | 環研職員      |
| 20 | 6. 22 金 | 腐食防食②                                      | 矢部 賢 | ●実技 (基本 6)                                     | 土井 正、環研   |
| 21 | 6. 26 火 | めっき設備①                                     | 岩永正彦 | ハルセル試験③【定期試験①】                                 | 土井 正      |
| 22 | 6. 29 金 | めっき設備②                                     | 岩永正彦 | 亜鉛・亜鉛合金めっき①                                    | 永田一雄      |
| 23 | 7. 3 火  | 粉じん①                                       | 星野芳明 | 亜鉛・亜鉛合金めっき②                                    | 山室正明      |
| 24 | 7. 6 金  | 粉じん②                                       | 星野芳明 | 亜鉛・亜鉛合金めっき③                                    | 山室正明      |
| 25 | 7. 10 火 | 制御機器①                                      | 小島一郎 | 電解研磨・化学研磨①                                     | 棚木敏幸      |
| 26 | 7. 13 金 | 制御機器②                                      | 小島一郎 | 電解研磨・化学研磨②                                     | 棚木敏幸      |
| 27 | 7. 17 火 | 溶融亜鉛                                       | 岡本謙三 | 装飾クロムめっき①                                      | 高倉利守      |
| 28 | 7. 20 金 | ひっかけ治具①                                    | 矢部 賢 | 装飾クロムめっき②                                      | 高倉利守      |
| 29 | 7. 24 火 | ひっかけ治具②                                    | 矢部 賢 | めっき材料①                                         | 星野芳明      |
| 30 | 7. 27 金 | 硬質めっき①                                     | 星野芳明 | めっき材料②                                         | 星野芳明      |
| 31 | 7. 31 火 | 生産実技 (9:00～17:00)                          |      |                                                |           |
| 32 | 8. 3 金  | 硬質めっき②                                     | 星野芳明 | 無機化学①                                          | 土井 正      |
| 33 | 8. 7 火  | 金属・非金属材料①                                  | 石井友之 | 無機化学②                                          | 土井 正      |
| 34 | 8. 21 火 | 金属・非金属材料②                                  | 石井友之 | 銅めっき①                                          | 山本良雄      |
| 35 | 8. 24 金 | 金属・非金属材料③                                  | 石井友之 | 銅めっき②                                          | 山本良雄      |
| 36 | 8. 28 火 | 貴金属めっき①                                    | 村楨利弘 | 銅めっき③                                          | 山本良雄      |
| 37 | 8. 31 金 | 貴金属めっき②                                    | 村楨利弘 | 設備管理                                           | 和田泰一      |
| 38 | 9. 4 火  | 無電解めっき①                                    | 神戸徳蔵 | 後処理①                                           | 川上洋一      |
| 39 | 9. 7 金  | 無電解めっき②                                    | 神戸徳蔵 | ※労働安全法規①                                       | 長嶋政人      |
| 40 | 9. 11 火 | 無電解めっき③                                    | 神戸徳蔵 | ※有機溶剤 (医学) ②                                   | 石川辰雄      |
| 41 | 9. 14 金 | すず・接合めっき①                                  | 辻 清尊 | ※有機則 (環境) ③                                    | 志賀孝作      |
| 42 | 9. 18 火 | すず・接合めっき②                                  | 辻 清尊 | ※特定化学物質 (医学) ④                                 | 石川辰雄      |
| 43 | 9. 21 金 | すず・はんだめっき③【定期試験②】                          | 辻 清尊 | ※特化則 (環境) ⑤                                    | 志賀孝作      |
| 44 | 9. 25 火 | 合金めっき①                                     | 丸田正敏 | ※保護具⑥                                          | 長嶋政人      |
| 45 | 9. 28 金 | 合金めっき②                                     | 丸田正敏 | ※作業環境⑦【特化則等試験】                                 | 長嶋政人      |

| 回  | 月日曜     | 講義科目・講義時間・担当講師                         |       |                                          |           |
|----|---------|----------------------------------------|-------|------------------------------------------|-----------|
|    |         | Aタイム(PM2:00～5:00)<br>Bタイム(PM5:00～8:00) | 講 師   | ●Cタイム(PM5:00～8:30)<br>※Dタイム(PM5:00～9:20) | 講 師       |
| 46 | 10. 2 火 | プラスチック上のめっき①                           | 矢後正幸  | プラスチック上のめっき②                             | 矢後正幸      |
| 47 | 10. 5 金 | 合金めっき③                                 | 丸田正敏  | めっき液分析①                                  | 斎藤弘幸      |
| 48 | 10. 9 火 | 後処理②                                   | 山崎竜一  | ●実技（基本1）                                 | 石井徹夫・環研職員 |
| 49 | 10.12 金 | 後処理③                                   | 山崎竜一  | めっき液分析②                                  | 斎藤弘幸      |
| 50 | 10.16 火 | 工場見学 9:00～17:00                        |       |                                          |           |
| 51 | 10.19 金 | 気相めっき                                  | 仁平宣弘  | ●実技（基本2）                                 | 環研職員      |
| 52 | 10.23 火 | パルスめっき                                 | 尾形幹夫  | ●実技（基本3）                                 | 太田幸一・環研職員 |
| 53 | 10.26 金 | めっき規格                                  | 神戸徳蔵  | ●実技（基本4）                                 | 環研職員      |
| 54 | 10.30 火 | 排水分析                                   | 長嶋政人  | ●実技（基本5）                                 | 中田充彦・環研職員 |
| 55 | 11. 2 金 | めっき評価                                  | 神戸徳蔵  | ●排水処理①                                   | 志賀孝作      |
| 56 | 11. 6 火 | 金属着色①                                  | 岩沢裕之  | ●実技（応用1）                                 | 中田充彦・環研職員 |
| 57 | 11. 9 金 | 金属着色②                                  | 岩沢裕之  | ●排水処理②                                   | 志賀孝作      |
| 58 | 11.13 火 | 省エネ①                                   | 石川 進  | ●実技（応用2）                                 | 石井徹夫・環研職員 |
| 59 | 11.16 金 | 省エネ②                                   | 石川 進  | ●実技（応用3）                                 | 太田幸一・環研職員 |
| 60 | 11.20 火 | 陽極酸化                                   | 平山良夫  | ●実技（基本6）                                 | 環研職員      |
| 61 | 11.27 火 | プリント配線めっき①                             | 高木 清  | めっき液分析③                                  | 斎藤弘幸      |
| 62 | 11.30 金 | プリント配線めっき②                             | 高木 清  | バレルめっき①                                  | 星野芳明      |
| 63 | 12. 4 火 | プリント配線めっき③                             | 高木 清  | バレルめっき②                                  | 星野芳明      |
| 64 | 12. 7 金 | 環境対策（大気1）                              | 鎌滝裕輝  | 複合めっき                                    | 小林道雄      |
| 65 | 12.11 火 | 環境対策（大気2）                              | 鎌滝裕輝  | 電鍍                                       | 小林道雄      |
| 66 | 12.14 金 | 特殊素地めっき①                               | 矢部 賢  | 高速めっき                                    | 小林道雄      |
| 67 | 12.18 火 | 特殊素地めっき②                               | 矢部 賢  | 特殊素地めっき③【定期試験③】                          | 矢部 賢      |
| 68 | 12.21 金 | 有害化学物質対策                               | 矢部 賢  | 環境対策（振動・騒音）                              | 志賀孝作      |
| 69 | 1.11 金  | はく離①                                   | 岩沢裕之  | ●環境法規①                                   | 志賀孝作      |
| 70 | 1.15 火  | はく離②【技能照査説明】                           | 岩沢裕之  | ●環境法規②                                   | 小坂幸夫      |
| 71 | 1.18 金  | ひっかけ治具③ 海野吉正、古橋史江                      |       | ●環境法規③                                   | 志賀孝作      |
| 72 | 1.22 火  | 品質管理①                                  | 矢部 賢  | ●環境法規④【公害防止試験】                           | 長嶋政人      |
| 73 | 1.25 金  | 品質管理②                                  | 矢部 賢  | 塗装                                       | 大野 茂      |
| 74 | 1.29 火  | 電着塗装                                   | 大野 茂  | 原価管理①                                    | 内藤隆夫      |
| 75 | 2. 1 金  | 原価管理②                                  | 内藤隆夫  | 生産管理                                     | 長嶋政人      |
| 76 | 2. 2 土  | 【技能照査実技試験】                             |       |                                          |           |
| 77 | 2. 5 火  | 皮膜試験①                                  | 水元和成  | 皮膜試験②                                    | 水元和成      |
| 78 | 2. 8 金  | 機器分析①【定期試験④】                           | 志賀孝作  | ●実技（応用1）                                 | 環研        |
| 79 | 2.12 火  | 機器分析②【技能照査学科試験】                        | 志賀孝作  | ●実技（応用2）                                 | 水元和成、環研   |
| 80 | 2.15 金  | 廃液処理                                   | 大西彬聰  | ●実技（応用3）                                 | 吉本圭子、環研   |
| 81 | 2.19 火  | I S O                                  | 横尾靖之佑 | ●実技（基本1）                                 | 水元和成、環研   |
| 82 | 2.22 金  | 予備日                                    |       | ●実技（基本2）                                 | 梶山哲人、環研   |
| 83 | 2.26 火  | 予備日                                    |       | ●実技（基本3）                                 | 吉本圭子、環研   |
| 84 | 2.29 金  | 予備日                                    |       | ●実技（基本4）                                 | 梶山哲人、環研   |
| 85 | 3. 4 火  |                                        |       | ●実技（基本5）                                 | 吉本圭子、環研   |
| 86 | 3. 7 金  |                                        |       | ●実技（基本6）                                 | 水元和成、環研   |
| 87 | 3.11 火  | 皮膜試験③                                  | 志賀孝作  |                                          |           |
|    | 3.14 金  |                                        |       | <修了式>1700～1800                           |           |

# 4月 高等職業訓練校授業案内

| 授業日(火・金) 授業時間(A:14:00～17:00 B:17:00～20:00) |   |          |                    |                                                        |
|--------------------------------------------|---|----------|--------------------|--------------------------------------------------------|
| 日                                          | 曜 | 時        | 科 目                | 内 容(予 定)                                               |
| 6                                          | 金 | 18<br>00 |                    | 入校式                                                    |
| 10                                         | 火 | A        | めっきの用途<br>(めっき法)   | めっきの用途(装飾、電磁波シールド、導電性、耐磨耗性など)<br>東京都鍍金工業組合技術顧問 神戸徳蔵    |
|                                            |   | B        | 基礎化学①<br>(電気化学)    | 化学の基礎、化学結合、化学量、溶液の濃度等<br>東京都鍍金工業組合 志賀孝作                |
| 13                                         | 金 | A        | 基礎化学②<br>(電気化学)    | 酸、塩基、塩、化学反応、pH、中和反応、酸化と還元等。<br>東京都鍍金工業組合 志賀孝作          |
|                                            |   | B        | クラス会<br>(生産工学概論)   | 自己紹介、班編成、班長、クラス委員の選出。<br>校長 八幡順一、委員長 高倉利守              |
| 17                                         | 火 | A        | 前処理①<br>(めっき法)     | 付着汚れの種類と除去方法、予備脱脂、本脱脂、電解洗浄等<br>ディップソール顧問 柳田 和夫         |
|                                            |   | B        | 電気化学①<br>(電気化学)    | 電気の電導、電極、電気分解、ファラデーの法則等<br>東京都鍍金工業組合 戸井崎茂              |
| 20                                         | 金 | A        | 前処理②<br>(めっき法)     | 界面活性剤の種類と使い方、脱脂の機構等。<br>ディップソール顧問 柳田 和夫                |
|                                            |   | B        | 電気化学②<br>(電気化学)    | 密度、電流効率、酸化還元電位、分極作用等<br>東京都鍍金工業組合 戸井崎茂                 |
| 24                                         | 火 | A        | 前処理③<br>(めっき法)     | 市販脱脂剤の種類と使い方、脱脂作業の強化対策、長寿命化<br>対策等。<br>ディップソール顧問 柳田 和夫 |
|                                            |   | B        | 電気化学③<br>(めっき法)    | 分解電圧、水素過電圧、錯塩、キレート化合物等<br>東京都鍍金工業組合 戸井崎茂               |
| 27                                         | 金 | A        | 前処理④<br>(めっき法)     | 脱脂・洗浄効果の評価、酸洗・除錆工程、水素ぜい性の防止等<br>ディップソール顧問 柳田 和夫        |
|                                            |   | B        | ニッケルめっき①<br>(めっき法) | ニッケルめっきの種類、特徴、用途、浴成分の働き等<br>(地独)都立産業技術研究センター 土井 正      |

※聴講料は1科目クーポン券3枚、または7,500円です。

# METEC盛況裡に閉幕

「METEC'07―第 36 回表面処理材料総合展」(主催:日本鍍金材料協同組合、(株)ICS コンベンションデザイン)が 2 月 21～23 日、東京ビッグサイトで盛大に開催され、大勢の来場者を迎えて盛況裡に閉幕した。

今回のMETECから、先端テクノロジーイベントの「nano tech2007 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」、超微細レベルの表面処理・加工を対象とする「ASTEC2007 国際先端表面技術展・会議」、高機能性素材・高付加価値技術の「nano & neo 新機能性材料展」、ナノとバイオとの融合領域の「ナノバイオ Expo2007」の 5 つの展示会の同時開催となり、3 日間の来場者数は 4 万 8,565 人と大盛況であった。

METECでは、日本鍍金材料協同組合の展示コーナーに設けられた「加工品展示コーナー」に東京都鍍金工業組合の城東支部が「めっきの蝶々」、葛飾支部が「めっきの魚」、足立支部組合員加工の各種めっき製品、京王電化工業(株)の 3 価クロム黒・緑色化成皮膜、バレル式 3 価クロムめっき製品などが展示された。また、ASTECで出展した大田区産業振興協会として、エビナ電化工業(株)、メイホー(株)が最新技術などを出展し、注目された。なお、次回開催は平成 20 年 2 月 13～15 日を予定している。



## 訃 報

謹んでご冥福をお祈り致します。

**岡本光庸様** (本所支部・岡本金属工業(株)会長、岡本博司社長のご尊父) 2 月 14 日午前 4 時 39 分死去、95 歳。告別式は 18 日午前 11 時から墨田区横川の中央博善社第二博善斎場で行われた。喪主は博司氏。

**新井 米様** (城西支部・日新電化(株)新井浩二社長のご母堂) 2 月 19 日午後 5 時 56 分死去、95 歳。告別式は 23 日午前 10 時から杉並区堀ノ内の妙法寺堀之内静堂で行われた。喪主は長男の新井美宏氏。

**國井昭宏様** (関東金誠(株)社長) 2 月 16 日死去、66 歳。告別式は 23 日午前 10 時から荒川区町屋の町屋斎場で行われた。喪主は夫人の夫左江様

# 全鍍連平成 18 年第 3 四半期景況調査

## 東京組合分集計結果

全国鍍金工業組合連合会は、平成 18 年度第 3 四半期景況調査結果をまとめ発表した。東京組合分(対象 60 社 回答率 51.6%)の調査結果は次の通り。

1. 売上高D I 指数(D I =増加ー減少)  
△26 となり、前回調査△57 より 31 ポイント悪化
2. 受注量D I 指数(D I =増加ー減少)  
△19 となり、前回調査△50 より 31 ポイント悪化
3. 受注価格D I 指数(D I =上昇ー低下)

▲3 となり、前回調査△10 より 13 ポイント低下

前回調査は、かなりのプラス指数となったが、今回は、ほぼ現状の指数と捉えられる。

政府系金融機関及びシンクタンクなどの中小企業景況観測によると、中小企業の売上高(全産業ベース)は前年同期比より上回っており、一般的に解釈すると、中小企業の業況は緩やかながらも改善傾向を示している。東京のめっき業界にあっても 1～3 はプラス指数であるため、ほぼ同じ傾向であると言える。しかしながら、一部の製品群にあっては発注調整が始まっている様子で、経済産業省が発表した 2006 年 11 月の全産業活動指数は前年同月比より 0.2%低下し、一部機関の調査レポートでも 11 月の受注量は低下傾向を示した。これらの要因等を推測する、商品価格の高騰によって原材料コストが上昇を続け、一部の製造元メーカーは在庫状況などを様子見ながら発注の調整がなされていることが(全産業ベースにおける売上増加の見通し等影響は少ないものの)マイナス要因として懸念さ

れる。

4. 金属仕入価格D I 指数(D I =低下ー上昇)

▲97 となり、前回調査▲90 より 7 ポイント悪化。

5. 薬品仕入価格D I 指数(D I =低下ー上昇)

▲87 となり、前回調査の▲90 より 3 ポイント改善。

原材料仕入単価は、めっき企業以外に全産業でも「上昇」超となっており、輸送費、原料、容器等すべてのものが値上げし、厳しい状況が続いている。同じく、販売価格への転嫁が、仕入価格の上昇分になかなか追いつかない状況が悪化傾向の要因である。

非鉄金属市況は、12 月にかけてはボックス圏で推移し、今年に入り、下落傾向が強まっている。個別ではニッケルは相変わらず一進一退であったが、銅と亜鉛は下落している。その背景には、米国の住宅投資の減速・中国の引き締め政策の影響等により、需要減退観測が出始めていることによる。また、暖冬を材料とした原油相場的大幅下落が商品市況全体の需要観測や年末商戦に向けた家電等の作り込みが一巡していること等が上げられる。しかし、ストライキや事故等の需要タイト化つながる要因に対し、非鉄金属の価格は上昇しやすい状態が続く。さらに亜鉛、ニッケルなど非鉄メジャーの統合やM&Aが進んでおり、新規開発投資や能力増強は後回しとなる可能性が高い。よって、今年半ばにかけて、世界景気の再加速が見込まれる中、相場は底堅い展開が見込まれている。

めっき材料では、ニッケルは最高圏で

の一進一退が続いている。天候要因（北半球の暖冬に対し、南半球は荒れた天候が続いている）が生産障害につながり、また、鉱山の開発は遅れているため、堅調な需要を背景に上昇しやすい状況は変わらない。亜鉛は、銅に連れて下落した。価格高騰を受けて、中国、北米、イランなど、各地で亜鉛鉱山や精錬所の投資が進められており、今年後半には供給が増えると予想している。しかし、亜鉛めっきの代替は困難なため、下値は限定的とみられる。

6. 収益状況D I 指数(D I =好転－悪化)

▲32 となり、前回調査の▲20 より 12 ポイント悪化。

7. 資金繰りD I 指数(D I =好転－悪化)

▲23 となり、前回調査▲3 より 20 ポイント悪化。

金属材料の価格高騰で仕入価格が上昇しているのに対し、販売価格への転嫁が進んでいないことが要因である。中小企業庁の「規模別企業物価指数」で中小企業性製品（中小企業の出荷シェアが 70%以上の品目）と大企業性製品（大企業のシェアが 70%以上の品目）の価格を比べると、前年比の価格上昇率は 05 年 2 月以降、06 年 11 月まで 22 ヶ月連続で中小企業性製品が大企業性製品を下回っており、中小企業で販売価格が上がりにくい傾向であることが分かる。このように仕入価格と販売価格の格差を埋め切れなだけでなく、同じ素材高に苦しむ販売先や親会社から、更なるコストダウンの要請や発注先を替えられるといった動きも広がっている。

8. 従業員数D I 指数(D I =増加－減少)

▲3 となり、前回調査の△7 より 10 ポ

イント減少。

9. 設備投資計画D I 指数(D I =有る－無し)

0 となり、前回調査の△3 より 3 ポイント低下。

これらの指数は毎回変動している。「景気の先行き不透明」や「企業収益の悪化」によって左右される要因ともなっている。こうした状況を反映して、前述したシンクタンクの調査でも、設備の過不足を示す生産設備D I（「不足」－「過剰」の企業の割合）は 12 月時点で「不足」超となっている。雇用の過不足感を示す雇用状況D I（同）も不足感の方が強く、中小企業においては生産要素の繁忙感が強いことがうかがわれる。

<総括>

○中小景況感は足踏み

わが国の景気は拡大基調をたどっている。実質国内総生産(GDP)は 2006 年 7～9 月期まで 7 四半期連続で前期比プラスとなった。景気拡大期間も 06 年 12 月で 59 ヶ月目と「いざなぎ景気」を超え、戦後最長の景気拡大となった。しかし、中小企業の景況感は、雇用・設備の不足感が強いにもかかわらず、一向に改善が進んでいない。すなわち、中小企業の採算状況は、全産業ベースで、90 年 10 月にマイナスに転じて以降、「悪化」超が続いている。今回の景気回復局面で改善の動きは見られるものの、一度も「好転」超に転じることはなく、2 ケタのマイナスをつけるに至っている。また、仕入価格の上昇に比べて販売価格が上昇せず、採算確保が難しくなっていることが要因としてあげられる。

○価格転嫁が困難

逃げ水のような仕入価格の上昇に販売価格が追いつけない状況である。企業物価指数の販売価格D I は、日本経済のデ

フレ進行と相まって、10年以上にわたり「下落」超であるマイナスが続いた。06年5月によりやくプラスに転じたが、販売価格の上昇は仕入価格に比べて勢いが弱い。そのため、中小企業は、仕入価格の値上げをのまざるを得ない一方で、売値の引き上げはなかなか通らない状況にあることがうかがわれる。

○仕入価格の上昇は一過性でない。

仕入価格の上昇は、中国をはじめとする新興諸国の経済発展を受けた国際商品市況の高騰が背景にあり、決して一過性の現象では終わらないという状況。中国など「世界の工場」群は、資源を引き寄せてその価格を高騰させる一方で、世界市場に向けて廉価品を送り出している。そのため、この狭間にいる中小企業は、原材料価格の上昇分の製品、サービス価格への転嫁が困難になっている。材料価格は、鉱山の開発が遅れているため、堅調な需要を背景に上昇しやすい状況は変わらない。さらに、今後の非鉄メジャーの統合も価格を押し上げる要因に発展する可能性が高い。

○売上の増加が逆に収益を悪化させる要因に。

政府系金融機関、シンクタンクの中小企業景況調査等によると、中小企業の売上高（全産業ベース）は、42ヶ月連続で増加した。また、07年1月の予測も増加傾向にあり、売上の拡大基調は続く見通しである。こうした中で、設備の過不足を示す生産設備は全産業ベースで「不足」超となっており、依然として、中小企業全体で生産要素の繁忙感が強いことがうかがわれる。上述したように、生産の繁忙とともに、新たな設備投資（借り入れ金利の上昇）、材料価格の上昇などが製造原価を急激に押し上げ、生産の向上が、逆に収益の悪化を招くといった負の常態

になりつつある。

## 景気見通し、意見等

<好転>

・当面は良いと思う。

必要金属の高騰に伴い、値上げ等も考えられるので、この状態が引き続くのではないかと考えられる。

<横ばい・不明>

・今後の見通しは不透明 3社

・3月までは(製造元)の決算の関係で大きな動きはないと思われる。非鉄及び貴金属価格の下落をみて、受注(注文)先延ばしも一部あると思われる。

<悪化>

・不況続く 1社

顧客市場が縮小、新規分野が立ち上がるまで収益性は改善されない。今年後半まで待つしかない。

・売上増加も水面下(仕入価格等)の上昇で厳しい業況、焼け石に水。

・金属・薬品価格が大幅高騰。よって受注単価上昇でも反映が困難である。また、受注量が増加しても、資金繰りが回転しているうちは良くとも、方向として厳しい。下請け企業は見通しが立たない。

・売上増加は(昨年は悪すぎたので)実際には2年前に戻った状況。仕入の上昇分が収益を悪化している。今後については、受注単価は上昇する気配はなく、以前にも増して厳しいと思われる。

<その他>

・2008年以降、自動車製造元メーカーのアジア戦略によって、大きな変化が懸念。他の一般製品共々一般めっきはさらに減少の見通しの方が強いと思われる。

## 東京都中小企業の1月景況 (2月調査)

### 足踏み状態から、わずかに改善

東京都産業労働局商工部

◎1月の都内中小企業の業況DIは▲29(前月▲32)と3ポイント増加した。製造業を除く3業種で改善がみられ、数ヶ月続いた足踏み状態から、わずかに改善した。当月と比べた今後3ヶ月(2~4月)の業況見通しDIは▲16(前月▲16)と横ばいとなった。慎重さをわずかに強めた前月と先行きの見方は変わっていない。○都内中小企業の業況DIを業種別でみると、製造業は▲27(前月▲24)と3ポイント減少し、2ヶ月連続の横ばいから、わずかに悪化した。これに対し、卸売業▲25(同▲31)、小売業▲48(同▲52)、サービス業▲17(同▲25)の3業種は4~8ポイント増加し、いずれも改善した。なかでも、小売業は改善の幅は小さいものの、2ヶ月連続の改善となった。業種区分別でみると製造業の「一般・精密機械等」が大幅に悪化した。一方、卸売業の「化学・金属材料」は大きく改善した。また、小売業の「食料品」、サービス業の「個人関連サービス」も改善した。○当月と比べた今後3ヶ月(2~4月)の業況見通しDIを業種別でみると、小売業のみ▲24(前月▲35)と11ポイント増加し、厳しい見通しながら、明るさを増している。卸売業は▲13(同▲12)とほぼ横ばいとなり、先行きの見方を変えていない。一方、製造業▲13(同▲11)、サービス業▲19(同▲14)は、ともに2ヶ月連続して悪化し、より慎重な見方となった。

○前年同月比の売上高DIは▲32(前月▲30)とわずかに悪化した。業種別でみると卸売業は▲23(同▲31)と8ポイント増、小売業も▲49(同▲52)と3ポイント増加し、ともに改善した。対照的に、製造業▲30(同▲22)、サービス業▲30(同▲23)は7~8ポイント減少し、いずれも悪化した。業種区分別でみると、改

善が目立ったのは卸売業の「化学・金属材料」「衣料・身の回り品」、小売業の「食料品」である。反対に、製造業の「電気機器」「材料・部品」、サービス業の「企業関連サービス」は大きく悪化した。

## 東京都総務局統計部からの平成18年事業所・企業統計調査協力へのお礼

平成19年2月28日

平成18年10月1日に実施した事業所・企業統計調査につきましては、多大な御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

既に御案内のとおり、この統計調査は、国内のすべての事業所を対象として、総務省統計局が都道府県、区市町村を通じて全国一斉に実施いたしました。結果は、我が国における事業所及び企業の産業、従業者規模等の基本的構造を地域別、産業別に明らかにするとともに、地域開発計画、都市計画、雇用対策、環境対策など各種行政施策の企画、立案のための基礎資料となります。

現在、各区市町村では調査票の収集、確認が概ね終了し、都における集計準備の段階を迎えようとしています。東京都分の結果については、速報を平成19年9月中に、確報を平成20年2月以降順次公表する予定です。

時代の激変期にあたり、社会の実相を捉える基礎的な統計資料の重要性はますます高まっています。御協力いただいた平成18年事業所・企業統計調査はもとより、今後の種々の統計調査への御理解を重ねてお願いし、お礼とさせていただきます。

問い合わせ先

東京都総務局統計部経済統計課

事業所統計係(広報担当)

〒105-0022 港区海岸 1-13-7(竹芝庁舎)

TEL03-5470-9072 FAX03-5470-9005

# 表面技術協会総会 棚橋会長を再選

(社)表面技術協会(棚橋純一会長)は2月27日(月)午後3時から千代田区麹町の弘済会館で第58回通常総会並びに各賞授与式を行った。

はじめに杉山和夫庶務理事が定足数の確認及び第57期事業報告を、瀧澤貴喜久男会計理事が会計報告、青柳良一監事が監査報告を行い、承認された。続いて、第58期事業計画(別掲)及び収支予算案を原案通り承認可決した。第58期役員(理事30名、監事3名別掲)・評議員の選任、名誉会員推薦(岸富也氏)を承認したあと、各賞授与式を行った。この後別室で理事会を開き、棚橋純一会長を再選するとともに副会長4氏を選任したことが発表された。

再選された棚橋会長は「昨年の総会で57期会長を拝命し、高谷前会長から引き継いだ、この1年を振り返ってみると、庶務理事の杉山先生、事務局から右を向けと言われると右を向き、左と言えば左を向くというように、よくわからないまま過ぎてしまったような気がする。これから2年目に入り、少しは私なりのカラーを出してリーダーシップを取らないといけないのかという気もするが、表面技術の先生方にはとにかく協会の運営に非常に熱心で、私があればこれ言わなくとも、どんどんことが決まって進んでしまうという感が強く、私はただみなさんが担ぐおみこしに乗ってそれ行けそれ行けと言っている内に、あと1年が無事に終わるのではないかと思っている。

副会長、理事のみなさんには今まで以上に協会運営にご協力をお願い申し上げる。会場のみなさんには業界を支えていただくためにもいろいろな講演会、セミナー、9月のサーテックに積極的に参加を頂いて事業を盛り上げて頂きたい。」と就任の挨拶をした。

## 第58期事業計画

### 1.常設委員会

1)学術委員会(年2回以上) ①講演大会・武井記念講演・依頼講演・シンポジウム等の企画立案②優秀講演賞の選考③学術奨励講演賞の選考④研究発表の会誌論文への投稿推進

講演大会実行専門委員会(春秋各2回)講演大会の開催運営(①115回大会3月7日～9日:芝浦工業大学②116回大会9月18日～20日、九州支部担当:長崎大学)

アカデミー実行専門委員会(年2回以上)表面技術の基礎的分野における学術的討論を行う為アカデミック研究会討論会を開催学術奨励資金運営委員会(年1回以上)学



## 術奨励資金運用

2)会誌編集委員会(年 6 回以上)①会誌の発行②協会他事業活動との連携強化(講演大会・支部活動・セミナー・部会活動等)

3)将来計画委員会(年 1 回以上)長期構想の検討

4)会員委員会(年 2 回以上)①事業活動の中での新会員入会促進(特に団体正会員の増強)②関連分野の新規会員の開拓

5)セミナー企画委員会(年 2 回以上)平成 19 年度セミナーの企画及び実施

6)国際学術交流委員会(年 2 回以上)学術の国際交流についての企画立案実施

(INTERFINISH2008「第 17 回表面技術国際会議」2008 年 6 月 16 日～19 日:韓国)

7)渉外・広報委員会(年 1 回以上)①表面処理団体協議会関連の事業推進②学術会議関連事業の推進③その他団体との協力推進

展覧会実行専門委員会(年 2 回以上)SURTECH の企画立案(2007 年 9 月 5 日～7 日:幕張メッセ)

8)不定期刊行物委員会(必要に応じ)協会名によるその他不定期刊行物の刊行促進

9)部会委員会(年 2 回以上)①各種部会の設立・改廃審査②新分野への部会設立支援③部会間の連絡調整

## 2.定期委員会

①役員等推薦委員会②名誉会員顧問推薦委員会③協会賞選考委員会④論文賞選考委員会⑤技術賞選考委員会⑥進歩賞選考委員会⑦技術功労賞選考委員会⑧功績賞選考委員会

## 3.特別委員会

標準化委員会 JIS 規格検討専門委員会(必要に応じ)(財)日本規格協会からの再委託の処理および JIS と国際規格との整合性審議

ISO 規格検討専門委員会(必要に応じ)ISO 本部からの提案事項を審議・ISO 本部委員会への委員派遣

## 第 58 期(平成 19 年度)役員

|        |                          |                   |
|--------|--------------------------|-------------------|
| 会 長    | 棚橋純一                     | 日本化学工業㈱代表取締役会長    |
| 副会長    | 石川幸男                     | 住友金属鉱山㈱取締役専務執行役員  |
| 副会長    | 高橋英明                     | 北海道大学大学院工学研究科教授   |
| 副会長    | 影近 博                     | J F E スチール㈱専務執行役員 |
| 副会長    | 高井 治                     | 名古屋大学エコトピア科学研究所教授 |
| 理 事    |                          |                   |
| 板垣 昌幸  | 東京理科大学理工学部教授             |                   |
| 伊藤 豪   | 太陽電化工業㈱代表取締役             |                   |
| 大塚 俊明  | 北海道大学大学院工学研究科教授          |                   |
| 釜崎 清治  | 首都大学東京大学院環境科学研究科准教授      |                   |
| 亀山 哲也  | (独)産業技術総合研究所中部センター所長代理   |                   |
| 蒲生西谷美香 | 東洋大学工学部助教授               |                   |
| 川口 純   | 日本パーカラジニング㈱総合研究所取締役所長    |                   |
| 清川 肇   | 清川メッキ工業㈱専務取締役            |                   |
| 久保 元伸  | 上村工業㈱中央研究所所長             |                   |
| 坂本 幸弘  | 千葉工業大学工学部助教授             |                   |
| 匂坂 克巳  | イビデン㈱技術開発本部副本部長          | 理事                |
| 柴田 正美  | 山梨大学大学院医学工学総合研究部教授       |                   |
| 竹内 貞雄  | 日本工業大学 先端材料技術研究センター教授    |                   |
| 珍田 聡   | 日立電線㈱高機能材料事業本部開発部コアエキパート |                   |
| 中岸 豊   | 奥野製薬工業㈱総合技術研究所取締役所長      |                   |
| 林 秀考   | 岡山大学大学院自然科学研究科助教授        |                   |
| 本間 敬之  | 早稲田大学理工学術院教授             |                   |
| 末永 智一  | 東北大学環境科学研究所教授            |                   |
| 松永 守央  | 九州工業大学理事・教授              |                   |
| 光田 好孝  | 東京大学生産技術研究所教授            |                   |
| 矢嶋 龍彦  | 埼玉工業大学工学部教授              |                   |
| 山崎 慎介  | 東新工業㈱代表取締役社長             |                   |
| 山崎 康夫  | 日本化学工業㈱執行役員技術推進本部長       |                   |
| 山中 泰宏  | 旭金属工業㈱代表取締役社長            |                   |
| 吉原佐知雄  | 宇都宮大学大学院工学研究科助教授         |                   |
| 監 事    |                          |                   |
| 青柿 良一  | 職業能力開発総合大学校教授            |                   |
| 栗倉 泰弘  | 京都大学大学院工学研究科教授           |                   |
| 粕谷 佳允  | 荏原ユーザライト㈱代表取締役社長         |                   |



## 平成 19 年度表面技術協会(協会賞・功績賞・論文賞・技術賞・進歩賞・技術功労賞)授与式

### 1. 協会賞(1 名)

栗倉泰弘(京都大学大学院工学研究科教授)

業績:機能性合金及び化合物半導体電析に関する基礎的研究

### 2. 功績賞(2 名)

(1)尾形幹夫(元工業技術院物質工学工業技術研究所)

(2)佐藤祐一(神奈川大学工学部教授)

### 3. 論文賞(3 件)

(1)論文:Cu/Low-k デバイスに対応した環境適合型の有機剥離液の開発

小糸達也(日本電気(株))、平野啓二(日本電気ファクトリエエンジニアリング(株))、位地正年(日本電気(株))、青木秀充(大阪大学大学院)、笠間佳子(NEC エレクトロニクス(株))

(2)論文:電析膜の密着性の定量的評価方法の検討—スルファミン酸浴からの Ni 電析膜の密着性—

中野博昭、大上悟(九州大学大学院工学研究院)、見汐大樹、西畑義則(九州大学大学院工学府)、福島久哲(九州大学大学院工学研究院)、津留 豊(九州工業大学工学部)

(3)論文:異なる粗さを組み合わせた固体表面での撥水性

吉満然(東京大学先端科学技術研究センター)、中島章(東京工業大学大学院理工学研究科)、渡部俊也、橋本和仁(東京大学先端科学技術研究センター)

### 4. 技術賞(1 件)

(1)技術:ガソリン自動車用直噴高圧燃料ポンプの耐摩耗・耐食表面処理技術

寺門一佳、鍵山 新、高橋由紀夫、町村英紀、山田裕之、中根清和((株)日立製作所オートモティブシステムグループ)、馬場昇、山口静((株)日立製作所日立研究所)

### 5. 進歩賞(2 名)

(1)業績:ナノテクノロジーの表面技術への展開

赤松謙祐(甲南大学理工学部機能分子化学科講師)

(2)業績:走査型プローブ顕微鏡を用いたダイレクトメタルドローイング法による Au ナノ細線の作製

石崎貴裕(名古屋大学大学院工学研究科助手)

### 6. 技術功労賞(5 名)

伊藤庄七((株)フジオカ)

大内義治(JFE スチール(株)表面処理研究部)

清水義博((株)ケディカ)

高橋秀弥((株)東海テクノリサーチ業務部)

善本賢二((株)NEOMAX 磁性材料研究所)

## 平成 18 年度会員増強運動協力者

影近 博(JFE スチール(株)スチール研究所)

棚橋純一(日本化学工業(株))

吉原左知雄(宇都宮大学大学院工学研究科)



## ものづくりー表面技術のすべてがわかるー SURTECH2007

(社)表面技術協会は、ものづくりー表面技術のすべてがわかるーをテーマとして下記要領によりSURTECH2007の開催及び、出展者の募集を発表した。

主催 (社)表面技術協会

後援 経済産業省、(独)中小企業基盤整備機構、千葉県

会期 9月5(水)～7日(金)

会場 幕張メッセ 展示ホール7

目的 材料表面に関する学理及び技術の進歩普及の成果を「見て、触れて、話せる」場である本展示会を通じて産学公のユーザー・サプライヤー・加工業に係る人々が一堂に会す。製品・技術・研究の発表など情報交流の場として基盤産業・表面処理業並びに関係業界の更なる発展を求める。

入場料 1,000円(税込)招待状持参加者及びインターネットによる事前登録者は無料

出展対象 めっき関連業種、塗装・塗料関連業種、熱処理・表面硬化関連業種、ドライプロセス・表面改質関連業種、環境保全・安全対策関連業種、試験・検査・研究・指導関連業種、大学・独立行政法人、その他表面処理の発展に寄与する機材・材料・技術などの関連業種。

展示料 一般ブース 336,000円(税込)

W2,970mm/D2,970mm/H2,700mm

申込期限 5月15日

問合わせ (社)表面技術協会 TEL03-3252-3286 FAX03-3252-3288

## (社)表面技術協会めっき部会・平成19年度例会企画予定

3月27日(火)9:00～東京理科大学森戸記念館

最新めっき技術プレゼンテーション 11社

「表面処理資機材メーカーによる新商品新技術の発表」

4月25日(火)13:30～東京理科大学森戸・第1フォーラム

WEEE/RoHS REACH 関係の講演 2～3件

星野技術士事務所星野芳明氏 1件、ほか 1件依頼中。

5月25日(金)13:30～東京都中小企業振興公社秋葉原庁舎

6価クロムフリー・3価クロム分析・排水処理の講演 2件

日立ハイテクノロジー1件、日本ワコン1件

6月(講演・見学会)名古屋方面 1泊2日予定

7月25日(木)13:30～東京理科大学森戸・第2フォーラム

9月(SURTECH2007 幕張メッセ)

10月(講演・見学会)予定

11月未定

秋季には、例会以外に部会主催のセミナーとして基礎講座の開催を現在企画調整中。

## 第 17 回表団協セミナー

表面処理団体協議会(表団協・奥野和義会長)は平成 18 年 11 月 2 日(木)午後 1 時 30 分から芝公園の機械振興会館で第 17 回セミナーを開催した。

和田洋六運営委員長の司会によりの奥野会長の開会挨拶のあと、(株)三進製作所相談役(工学博士)福田正氏が「ホウ素・フッ素などの対策を中心とした排水処理の見直し」をテーマに、はじめに「これまでフッ素は環境項目として規制されているため、排水処理法は確立されており処理実績も多い。一方、ホウ素については一部の府県で規制されているものの国の一律基準が無かったため、排水処理の実施例は殆ど報告されていなかった。平成 13 年に一律基準が公示され、電気めっきなどの特定業種については、3 ケ年の暫定期間を経て平成 16 年 7 月より一律基準が適用されることになっていたが、とくにホウ素対策のための適用可能な処理技術が、十分に確立されていないなどの理由によって暫定排水基準値を強化して(海域以外の公共用水域への排出暫定基準は 50mg/L)さらに 3 ケ年延期されたが、その残余期間も半年強となっている。全鍍連による工場排出水のホウ素、フッ素などに関するアンケート調査結果によれば暫定基準を超過するケースは殆ど無いものの 7-8%の事業所でホウ素が、12-13%の事業所でフッ素が一律基準を満たしていないという結果になっている。しかし、一律基準を超えている事業所の多くは都市部に在り、これら都市部の事業所は“節水”や“排水のリサイクル化”が進んでいることが推測されることから、高度な排水のリサイクル化が影響している結果とも伺える。鉛、シア



(福田正氏)

ン、六価クロムなどの有害物の基準値に比べ、フッ素、ホウ素の一律基準値はそれぞれ 8、10mg/L であることから、めっき工程内の工夫によって対処することが可能なケースも思われる。しかし、一部のめっき現場では未だ前向きな対策が講じられているとはいえない。改めてこれらの規制物質に対する取組み方、処理技術のポイントについて考えてみたい」として、2.ほう素、ふっ素の排出源と濃度、3.ほう素、ふっ素に関する処理技術の概要紹介、4.めっき工程におけるほう素、ふっ素対策、5.予測される亜鉛規制の改定と対応などについて講演した。

次いで愛知淑徳大学ビジネス研究科教授・真田幸光氏が「混迷の東アジア情勢と日本…」をテーマに、1.東アジア経済を中心とする国際経済概況、2.最近の中国の動向、3.産業界動向と中国、4.日本経済情勢を如何に捉えるか、5.最新満州奥地情報、北朝鮮情報、韓国情報の細目で講演した。それによると、世界経済の変化とグローバリゼーションについて、私はここ数年見られる世界的なグローバリゼーションの根底には、「中国とインドの国際経済社会への回帰」が一つの大き



(真田幸光氏)

な背景となっていると考えている。特に中国経済の国内総生産規模は既に 1 兆 4,000 億米ドルと先進 7 カ国の中位水準に位置し、年間交易規模も米国、ドイツに続き第三位となり、2005 年には約 1 兆 4,000 億米ドルを記録、また外貨準備高も日本に次ぎ 約 7,700 億米ドルと世界第二位になるなど中国経済を抜きにして世界経済は語れなくなっている。またその中国とインドの人口増加トレンドが続くと共に、世界経済に占める両国のシェアは拡大していくものと予想されており、このままのトレンドが続くと、中国は 2015 年に、インドは 2050 年には日本の経済規模を上回るとの予測も示されて

いる。こうして中国やインドの経済力が拡大すれば、国際経済社会に於ける彼らの影響力は拡大し、グローバル・ビジネスに於ける各種ビジネス・ルールやスタンダードが中国化、インド化していく可能性も高まりつつあると考えられるのである。また、中国やインドの生産拡大は安価・良質の製品が世界市場にたくさん供給されることとなり、これにより短期的には世界的な需給の緩和をもたらす。一方、中国・インドの貿易収支は黒字基調を拡大し、これが人民元やインドルピアの通貨高を誘引する可能性も出てくる。中国・インド経済の拡大は両国国民の所得水準の向上に繋がり、通貨高と共にこれが中長期的には中国製品、インド製品の生産価格上昇に繋がる。また両国国内の消費が拡大し、世界一位、二位の人口規模を持つ両国の消費拡大は将来的には再び「世界的なものの需給」を逼迫させる可能性もあるのである、

従って、今後、世界経済とグローバリゼーションをチェックしていく上では、中国やインドへの関心を持続させることが必要不可欠であると私たちは認識をしておくべきなのである。などと解説した。

## 機材工 川上・川下構築支援セミナー開催

中小企業庁は昨年、わが国製造業を支える基盤技術を担う川上中小企業者と、燃料電池や情報家電等の川下製造業者等のコミュニケーションの円滑化を目指す「平成 18 年度川上・川下ネットワーク構築支援事業」を実施した。中小企業庁より事業管理を受託している(独)中小企業基盤整備機構が、川上・川下間のネットワーク構築に向けた取り組みを行う企業・団体を公募したところ 30 件の応募があり、厳正な審査の結果、平成 18 年 10 月 20 日、16 件の採択を発表した。めっき関係では(社)日本表面処理機材工業会が採択され、様々な産業の基盤技術であり、また「ダウンサイジング」や「環境配慮」などの技術開発が課題となっているめっき技術について、情報共有、連携を促進し、新事業分野展開を図るため表面処理の資機材業者及び製品製造業(川上)とメーカー(川下)

とのネットワーク構築がテーマとなっている。

(社)日本表面処理機材工業会(奥野和義会長)は1月30日(火)午後1時から赤坂の東京全日空ホテルで、川上・川下ネットワーク構築支援事業として、セミナーを開催、多数の関係者が聴講した。

セミナーでは、始めに武蔵工業大学(工学博士)星野重夫名誉教授が「クロムめっきとクロムフリーの展望と将来」と題して、1.はじめに「装飾や工業用に使われるクロムめっき浴には高濃度の6価クロムが含まれている。この6価クロムは環境規制物質であり、欧州のRoHSやWEEE、ELVなどの指令を受けて亜鉛めっきのクロメート処理は6価クロムを含まない化成処理へと進んでいる。この代替技術としては3価クロム塩を用いたものが主流であり、モリブデンやタングステン塩、ジルコニウム等をベースとした化成皮膜および有機皮膜なども開発されている。この6価クロムを含まない化成処理が我が国ではクロムフリーと短縮して呼ばれるようになったために、クロムが使えなくなると誤解されて、クロムめっきに関係する人たちに大きな混乱を与えた。現在では亜鉛めっきのクロメート問題も代替技術が定着しつつあり、皮膜の分析法などに少し課題を残してはいるが見通しは付いたようである。しかし、これに誘発されたクロムめっきと6

価クロムの問題はまだ尾を引いており、今でも6価クロムを用いない代替技術への要望が強くなっている」として、2.6価クロムを使うクロムめっきの問題点と代替技術、3.3価クロム浴からのクロムめっきの開発動向、4.工業用クロムめっきの代替技術などについて講演した。



次に武蔵工業大学(工学陣士)高木靖雄教授が「燃料電池の開発の現状と課題ー電気化学・表面処理とのつながり」と題して、エネルギー利用効率が高くかつクリーンなエネルギー源として自動車、家庭発電用、携帯用小型電源用」に開発が進められている燃料電池の開発の現状と課題を概説した。現状と課題では、達成されている性能に加え開発コストや耐久性の問題に触れた。また、燃料電池の構造や機能から、使用されている材料や表面処理の必要性に関しても解説した。

大阪大学・菅沼克昭教授は「鉛ウィスカ発生メカニズムと対策」と題して、錫ウィスカは、機器故障の長い歴史を持つ現象であるが、最近の研究で新たなメカニズム解明の兆しが見え、抑制策の提案も可能になりつつあると、錫ウィスカの最新を紹介した。

## 確実な退職金設計なら中退共制度で！

中退共制度（中小企業退職金共済制度）は、中小企業で働く従業員のための外部積み立て型の国の退職金制度です。

＝適格年金制度から中退共制度に移行できます＝

—移行のメリット—

☆ 中退共への資産移換時に積立不足の解消は不要です。

☆ 適格年金資産を全額移換できます。

☆ 事務手数料は一切不要です。

☆ 企業は運用リスクを負いません。

※ホームページ上で移行シミュレーションができます。

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp>

＝中退共制度はこんな魅力があります＝

—掛金の一部を国が助成—

1. 新規加入助成・・・中退共制度に新しく加入する事業主に、掛金月額の 1/2（上限 5,000 円）を従業員ごとに加

入後 4 か月目から 1 年間助成します。

（注）適格年金制度からの移行、及び社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している事業主は助成対象になりません。

2. 月額変更助成・・・18,000 円以下の掛金月額を増額する事業主に、増額分の 1/3 を増額した月から 1 年間助成します。

—短時間労働者（パートタイマー等）の加入にも助成—

☆ 特例掛金月額は、2,000 円・3,000 円・4,000 円の 3 種類です。

☆ 新しく加入する事業主に、掛金月額の 1/2 にさらに上乗せして助成します。

—加入できる企業—

この制度に加入できるのは、次の企業です。但し、個人企業の場合は常用従業員数によります。

一般業種（製造・建設業等）常用従業員数 300 人以下又は資本金・出資金 3 億円以下

（注）常用従業員数には、1 週間の所定労働時間が同じ企業に雇用される通常の従業員とおおむね同等である者であって、①雇用期間の定めのない者、②雇用期間が 2 か月を超えて雇用される者を含みます。

—掛金は全額非課税—

☆ 掛金は、法人企業の場合は損金、個人企業の場合は必要経費として、全額非課税となります。

—管理が簡単—

☆ 掛金は口座振替ですので手間がかかりません。

☆ 従業員ごとの納付状況や退職金額を事業主にお知らせしますので、退職金の管理が簡単です。

☆ 決算関係資料を一度の登録で毎年自動送付します。

—掛金の種類—

☆ 月額 5,000 円から 30,000 円までの 16 種類です。

—加入の手続き—

☆ 所定の申込書に記入・押印の上、お近くの金融機関または委託事業主団体に提出して下さい。

■お問い合わせ先

独立行政法人勤労者退職金共済機構 〒105-8077 東京都港区芝公園 1-7-6

中小企業退職金共済事業本部（中退共） TEL 03-3436-0151(代表)

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp> FAX 03-3436-0400

## ■十日会

### 総会開催

十日会(太田幸一会長)は3月12日(月)午後7時からめっきセンターで会員26名が出席して定例総会を開催した。

石川英孝副会長の司会により、八幡義一幹事の開会の挨拶のあと、太田会長は「昨年3月の総会で会長を仰せつかり、みなさんのご支援ご協力により大過なく1年を過ごすことができました。会長になり、どうしたら活気ある活動ができるかを考えた。みなさん忙しい方ばかりなので例会の内容を決め、早めにお知らせすることにした。十日会はめっき業者だけでなく、材料、設備メーカーもあり、どのような講演をすればメリットのあるものになるかを考えながら役員のみなさんに頑張ってもらった。みなさんの協力に感謝している」と挨拶した。

議長に縄田敏治元会長を選出して議事に入った。平成18年度事業報告を上原裕司幹事、同決算報告を柴田徹会計が行い、承認された。続いて役員改選に移り、議長から選考委員5名を指名し、別室で協議の結果、菊池忠男選考委員長が太田会長の続投を発表した。太田会長からは、来期日本鍍金協会が十日会の担当となるので、会長候補者を出さなければいけないが、遠藤清孝元会長を推薦したいとはかり、承認された。

再選された太田会長は「選考委員会からもう一期続投というご指示を頂いたが、前期何も出来なかったのもう一度チャンスを受けたものと思う。めっき業界



においては土壌汚染問題や排水規制など厳しい状況にあるが、表現を変えると向かい風にあると言える。私が好きなゴルフに例えると、向かい風の中でティーショットを打つと、ボールが吹き上がって飛ばないが大きな失敗もない。追い風では風に乗ってOBとなることもある。向かい風の中を一步一步進んでいきたいと思う。私も昨年以上に努力していくのでみなさんのご支援ご協力をお願い申し上げる」と就任の挨拶をした。

来期日本鍍金協会会長に推薦された遠藤清孝氏は「協会会長は順番ということでついに私に回ってきたかと感じている。協会も神谷会長の頃から少し変わってきたかなと思う。従来事業報告、現況報告が主体であったが、その時々話題や問題等を討論するようになった。昨秋の大

阪の大会でもいろいろ話し合ったが、臨席頂いた大阪の理事長から、東京、大阪、愛知がこうして腹を割って話し合えるのはすばらしいことだお褒めの言葉を頂いた。私も会の良いところを伸ばし、次につなげるように精一杯努めていくのでご支援ご協力をお願い申し上げます」と挨拶した。最後に梅田伊三夫幹事の閉会の辞で総会を終了した。

## 十日会

### 第 64 回ゴルフ大会

十日会(太田幸一会長)は 4 月 22 日(日)江東区の若洲ゴルフリンクスでの第 64 回ゴルフ大会を開催する。若洲ゴルフリンクスは東京湾に突き出た自然豊かなコースで、日頃のストレスを解消し、親睦を深めることにしている。

### 第 46 回年次大会

日本鍍金協会(松風嘉弘会長)は 3 月 24 日(土)午後 2 時から、ホテル京阪ユニバーサル・シティで第 46 回年次大会を開催する。大会には東京の十日会も参加、平成 18 年度事業経過報告、収支決算報告、傘下各会事業経過・現況報告、任期満了に伴う役員改選などを行う。このあと、家族同伴懇親会を行う。翌日は自由行動であるが、家族でユニバーサル・スタジオ・ジャパンを楽しむことができる。

## 旅のスケッチ万華鏡(Ⅲ)

### 石川進造展



石川進造氏(株ヒキフネ、組合監事)は、ペンと水彩で描く旅の記憶「旅のスケッチ万華鏡(Ⅲ)」の個展を 4 月 5 日(木)から 1 週間、北青山のギャラリーコンセプト 21 で開く。

昨年インド・北西砂漠の街を訪ねてスケッチした作品が中心となり、案内には「喧噪のデリーを起点に、岩砂漠の街、ジャイサルメール(ゴールデンシティ)・ジョドプール(ブルーシティ)、ジャイプール(ピンクシティ)の三都市をめぐるしました。そこには渴いた褐色の大地と、灼きつくす陽光をはねかえす色彩の氾濫がありました」と述べている。

個展期間：4 月 5 日(木)～11 日(水)

ギャラリーコンセプト 21

(〒107-0061 港区北青山 3-15-16)

TEL&FAX03-3406-0466)

東京メトロ表参道駅(銀座・千代田・半蔵門線)B5、A1 出口より徒歩 3 分

# 東京都鍍金工業組合

トップ > 組合員紹介ホームページ募集のご案内

トップページ

東京都鍍金工業組合概要

環境科学研究所

高等職業訓練校

貸会議室情報

めっきの歴史

めっきの種類

めっき関連データ集

めっき関連リンク集

湯島界限

mapfan

めっき掲示板

組合員専用掲示板

お問い合わせ先

行事予定

エコアクション 21 の  
すすめ

エコアクション 21 の導入・運用

12 支部別事業所紹介

組合員紹介ホームページ  
募集のご案内

## 組合員紹介ホームページ募集のご案内

当組合では、組合員事業所で自社のホームページを作りたいが、作成の仕方がわからないとか、面倒だ・費用がかかるといった理由でホームページを所有していない事業所に対して、ご希望により自社を紹介する事業所紹介ホームページを作成・掲載いたします。皆様のお申込みを心よりお待ちしておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。なお、組合員紹介ホームページの詳細につきましては、下記記載事項をご確認願います。

### <掲載要件>

- 1.募集対象 東京都鍍金工業組合 組合員  
(自社のホームページを所有していない事業所)
- 2.掲載場所 組合ホームページ (事業所紹介ページよりリンク)  
(URL:<http://www.tmk.or.jp>)
- 3.掲載料 10,500 円 (税込)

### <お申込み方法>

お申込み方法については、下記の順にてお進みください。

- ①下記紹介ページサンプルと紹介ページ掲載申込書を印刷してください。
- ②サンプルをご参照の上、掲載申込書に必要な事項を記入してください。
- ③申込書記入後、東京都鍍金工業組合へ FAX して下さい。

FAX 03-3816-6166

- 紹介ページサンプル (クリックしてください。)
- 紹介ページ掲載申込書 (クリックしてください。)

※掲載する写真につきましては各事業所にて撮影いただき、組合事務局まで送付願います。

- ①デジタルカメラの方は、写真をメールにて送付願います。
- ②デジタルカメラをお持ちでない方は、写真を送付願います。  
(画質が多少落ちますがご了承ください。)

※詳しくは下記まで、ご連絡願います。

連絡先 東京都鍍金工業組合 総務課 担当 近藤

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-11-10 めっきセンタービル 1 階

TEL 03(3814)5621 FAX 03(3816)6166

[webmaster@tmk.or.jp](mailto:webmaster@tmk.or.jp)

ページの先頭へ

## <サンプル>

東京都鍍金工業組合（事業所名）

事業所PR文 事業所PR文（200字以内）

所在地 文京区湯島 1-11-10

代表者 大村功作 メールアドレス webmaster@tmk.or.jp

電話 03 (3814) 5621 FAX 03 (3816) 6166

めっきの種類 ○○めっき、△△めっき、□□めっき、××めっき等(50字以内)

加工製品 ○○部品、△△器具、□□機、××機器等。(50字以内)

特徴など ○○○○○○、△△△△△△ （200字以内）



めっきセンタービル(写真 1)



分析風景(写真 2)

close



## 色調自由にめっき

(日刊工業新聞 06.12.4)

機械、電子を問わず、現在の工業分野になくてはならないめっき。最近では六価クロムの使用中止や排水処理の見直しなど各種環境規制への対応を強いられ、ネガティブなイメージが先行したが、同時にニューテクノロジーの一端を担う技術として一層の発展が期待されている存在でもある。機能面に限らず、近年は装飾分野でも従来なかったユニークな取り組みが行われ、業界外からも注目を浴びている。今回の特集では、めっきを通じ、人間の感性に訴えかける試みを紹介する。

京都市下京区の京都リサーチパーク内に拠点を置く京都府中小企業技術センターは、戦後まもなく設置された京都府立産業能率研究所と京都府立機械工業指導所を前身に持つ。独自の研究開発活動に加え、京都府内の中小企業を主な対象に技術的な相談・支援に長年携わり、企業の新分野進出や産学公連携のコーディネートにも力を入れている。

領域は材料や機械から化学、電子、バイオまで幅広いが、めっきはセンターの中でも最も古い研究の歴史を持ち、一年を通じて多数の相談業務や支援活動をこなす。

京都はめっき産業の集積地の一つであり、現在も多くの会員企業を擁する京都府鍍金協同組合が活動している。この背景には同地の機械工業と、世界的なエレクトロニクス関連産業の存在がある。同時に、京都は古くから文化・宗教の中心地であり、装飾

用に金・銀めっきを用いる仏具や工芸品の製造が行われてきたためでもある。いわば電子部品、一般機械部品とならび装飾品が3本の柱を醸成している。

このように、装飾めっきに今も深くかかわる同センターの応用技術室が先ごろ開発したのが着色めっき、すなわち電気めっきを用いた着色膜の作製技術である。通常、金属を着色する場合は塗装や染色がおこなわれるが、今回の技術は、特別な装置や顔料を使うことなく、従来のめっきでは得られなかったカラフルで自由な色調を可能にした。

実験では、亜鉛やニッケルなどを材料としためっき浴を用いて、短辺 20 ミリ、長辺 60 ミリの黄銅板上に、赤、黄、緑、青と徐々に変化する 12 色の被膜を形成することに成功した。完成しためっき膜を見ると、自動車のメタリックカラー外装とは明らかに異なる印象を受ける。厚みを感じる塗膜に比べ、透明感のある色つやが特徴的である。

## 消える？ 1 セント硬貨

### 原料高でコスト額面上回る

(フジサンケイビジネスアイ 07.2.7)

日本の1円玉に相当する米国の1セント(約1円20銭)硬貨が、年内にも廃止される可能性が出てきた。世界的な資源価格の高騰で製造コストが額面を大幅に上回り、铸つぶされて転売される被害が拡大すると懸念されているためだ。米紙ワシントン・タイムズによると、米造幣局は米国の貨幣制度見直しのたたき台になる報告書を近く議会に提出、これを受け上院などで年内にも結論を出す予定だ。

1 セント硬貨の主原料である亜鉛の国際相場は中国やインドなど新興経済国での需要拡大を背景に昨年6月以降急上昇してい

る。今や1セント硬貨1枚当たりの製造コストは1.7セントと、硬貨の額面金額を7割も上回る異常事態となった。ニッケルを主原料とする5セント(約6円)硬貨も同様に、製造コストは8.3セントに達しているという。

米造幣局は、硬貨を铸つぶして地金として売られるのを防ぐため、铸つぶしや一定限度を上回る海外への持ち出し行為に対し1万ドル(約120万円)の罰金と禁固5年の厳しい罰則を科す暫定規制を設けた。しかし、転売を狙った銅線泥棒が横行する中で、実効性には疑問の声が上がっている。安い原材料を使った新硬貨への切り替えも検討されたが、多額の切り替えコストがかかるため、廃止論が勢いを増しているという。

## じょうとう IT 経営大賞

### 最優秀賞に竹内工業

(日刊工業新聞 06.2.7)

ITC 江東など2団体3社は5日「じょうとう IT 経営大賞」の第1回入賞社を決定し、亀戸のカメリアホールで表彰式を開いた。同賞は、城東地域で経営にITを活用し業績を向上した中小企業が対象で10社が入賞した。

最優秀賞に竹内工業(墨田区)は口紅などの化粧品容器メーカーで、今回、品質改善要望を全社で共有する独自システムを構築、また1月からホームページで表面技術など強みを紹介し、顧客獲得に役立てている。

## プラめっき

### 六価クロム不要

(日刊工業新聞 07.2.15)

岩手大学工学部の森邦夫教授(副学長)らは、六価クロムを使用せずにプラスチックやゴムなどさまざまな材料に自在に金属メッキができる技術を開発した。樹脂などの

表面に1ナノメートル(ナノは10億分の1)のトリアジンジチオール超薄膜を結合させ、無電解および電気メッキすると、代表的なエンジニアリング・プラスチックのABS樹脂で表面粗さ50ナノメートルの平滑面に、剥離強度2・5キロニュートン(従来は1キロニュートン)の高密着強度メッキ製品が得られた。

有害な六価クロムを使用しないため環境に優しく、表面精度も高いことから情報通信、自動車産業などでの普及が見込まれる。

同メッキ技術は、1%以下のトリアジンジチオール水溶液に20度Cで10分程度浸して、1ナノメートルの薄膜を形成。市販の無電解メッキ液により40度C、10分程度でメッキ厚0.2マイクロメートル以下の無電解メッキを施し、さらに耐食性を高めるため30マイクロ50マイクロメートルの電気メッキを施す。

ABS樹脂のほか、メッキが困難だったポリイミド樹脂、ポリエステル樹脂などのプラスチックやシリコンゴム、セラミックス、ガラス、繊維などさまざまな材料にメッキできるという。

従来、プラスチックにメッキするには、六価クロムでエッチング(樹脂表面を溶かして微妙な凹凸を付ける)してから触媒を吸着させて無電解メッキしていた。同技術では六価クロム・エッチングが不要なため、環境に優しく、かつ表面精度も高いものが得られる。同技術については、すでに1社に通常実施権の形で技術供与、実用化が進められているという。

【用語】トリアジンジチオール=硫黄とシリコンの化合物で、正式には「アルコキシシリルプロピルアミノトリアジンジチオール」(TESTD)。TESTDは岩手大学の物質特許。メッキのほか、有機複合体、プリント配線基板、金型の製作にも応用できるといふ。



## 国立新美術館誕生

いたくら ふ み こ  
板倉 富美子 (城南支部)

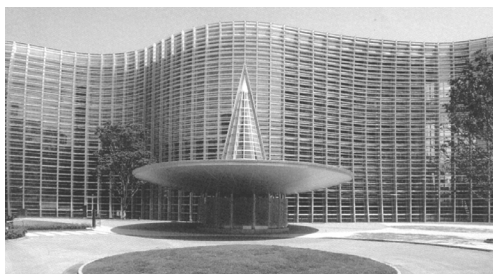
平成 19 年 1 月 21 日に国立新美術館が首都東京に五番目の国立美術館としてオープンした。美術関係者の永年の要望が実現したもので、搬出入も機能的で自動倉庫も備え国内最大級の展示場(14000m<sup>2</sup>)を有し、特定な美術品は所蔵せずに全会場を展示場として全国的に活動を行っている美術関係団体や新聞社の共催展などに提供する。

2.26 事件の旧陸軍歩兵第三聯隊及び近衛歩兵第七聯隊の兵舎として使用していた跡地に建設されたもので、設計者黒川紀章氏により、陸軍歩兵第三聯隊の司令部の建物の正面を残すことによって歴史と現代の共生が可能となっている。アトリウムは透明なガラスを使用し周辺の森と光が知と感性の空間を醸しだしている。

周辺の緑と調和した美しいガラスの外壁曲線は美術館そのものが芸術品となっていて一見に値する。六本木ヒルズの森美術館、サントリー美術館など近くの美術館と連携して美術の拠点となるでしょう。

美術鑑賞後の疲れを癒すには館内にある三ツ星レストランのシェフによるお食事又はおしゃれなカフェでお茶など如何ですか？

この美術館に展示出来るなら私も出品し



てみようかと思いました。また近くの西麻布には当組合の広報委員として活躍中の向島支部の籠利達郎氏が出演しているジャズ&ワインのお店ミスティもあり、当欄で以前にご紹介したブッシュ大統領が来店した和食レストラン権八もミスティの斜め向かい側に在ります。

春風に誘われて、たまには都心の六本木境界の散策に出掛けてみませんか、美術への理解も深まり生活も豊かなものになるかと思います。歴史と美術の街が貴方を待っています。

国立新美術館

(〒106-8558 東京都港区六本木 7-22-2  
TEL03-5777-8600)

東京メトロ千代田線 乃木坂駅 6 出口  
(美術館直結)

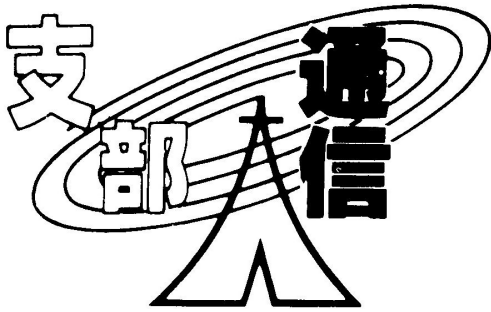
その他の国立美術館

国立西洋美術館(台東区上野公園)

国立美術館(千代田区北の丸公園)

国立国際美術館(大阪)

京都国立近代美術館(京都)



■城南支部

## 土壌汚染対策講習会

城南支部(若山満支部長)は3月5日(月)午後6時から裁判所共済組合みやこ荘で土壌汚染対策講習会を開催した。

講師は東京鍍金公害防止協同組合の小原俊幸専務理事で、土壌汚染対策法、東京都環境確保条例の解説から、実際の調査事例、浄化対策費などについて1時間講演した。特に土壌汚染状況の調査に関する質問に答えて、概況調査には、表層土壌調査と表層ガス調査がある。重金属等は表層(地表から深さ5cm)の土壌およびその直下から45cm下の土壌を均等に採取しそれらの同量を均等に混合して検査する。揮発性有機化合物は表層より概ね1mの地中で土壌ガスを採取し検査する。

概況調査により土壌、地下水汚染の発生が明らかと

なった場合、あるいはその恐れが高い場合、土壌、地下水汚染発生の有無の確認、浄化対策の検討、対象範囲の設定のために詳細調査を実施するなどの説明があった。

講習後、若山支部長は「組合にこうした相談窓口があり、困ったことがあったら組合に相談されて良い方向に持っていかれるようお願いしたい。小原専務から色々な動向や各種情報も教えて頂けるそうで、今後の事業活動に活かして頂きたい。支部はみなさんと手を携えて色々な知恵を出し合って対処していきたい。いざその場に立たされて1人の力では何もできないことがある。今日頂いた資料を勉強して今後のみなさんの企業活動に反映させて頂きたい。今日は会場手配の不手際もあったが、個別相談にも応じて頂けるそうで、この後も貴重な情報を聞いて頂きたい。なお、4月26日にゆうぽおとで総会を予定しており、多数のご参加をお願いしたい。本日は最後までお付き合いをお願いしたい」と挨拶した。このあと、中澤敏明常任理事の音頭で懇親会を行った。



## 由田猛氏都知事表彰受章祝賀会盛大に開催

東京都鍍金工業組合並びに東京鍍金公害防止協同組合副理事長、関東めっき健康保険組合理事長の由田猛氏(城西支部・(株)協和社長)は長年にわたる組合活動の功績により昨年 10 月、東京都功労者表彰を受章された。由田氏の受章は本人、ご家族はもとより、城西支部にとっても大変栄誉なことであり、共に喜びを分かち合いたいと、2月17日(土)午後5時より、池袋サンシャイン 60 トリアノン 59 階樓の間で、支部員、来賓など 80 名以上が出席して由田猛氏都知事表彰受章祝賀会(発起人:城西支部顧問・板橋利次、戸塚由雄、佐藤雄三、(株)ジンカートセンター会長・太田精の各氏)を盛大に開催された。

一部式典は、内田悦美実行委員の司会により、元井民夫実行委員長の開会の辞

のあと発起人を代表して、戸塚由雄支部顧問は「由田氏は組合副理事長として活躍されているが、長年にわたる功績が認められて東京都知事表彰を受章された。城西支部はただちにみなさんのご賛同を頂いて発起人会を結成した。本日は本部理事、支部役員、支部員みなさんの大勢のご参集を頂き心から感謝申し上げる。当初、首相補佐官の小池百合子衆院議員にご臨席を頂いて祝意を表して頂きたいと思ったが、あいにく都合がつかず、お詫びの電話を頂いたことをご報告する。由田氏の都知事表彰受章は城西支部の誇りであり、まことに光栄である。業界のために一生懸命に尽くして頂いている由田氏にさらにご活躍を頂くよう祈念し、この会が盛大となるようお願い申し上げます」と挨拶した。

柏村一志実行委員が由田氏の功績披露



(別掲)を行った。

来賓として、大村功作理事長は、「この度の受章は本人はもとより奥さん、ご家族のみなさまもさぞおよろこびのことと思う。当業界にとっても大変名誉なことである。都知事表彰を頂くには厳しい規程があり、まず組合理事歴 23 年以上とともに活動の功績が必要である。こうした厳しい規程を設けるのは、国家褒章につながる表彰だからである。柏村氏から功績披露があったが、現在組合では副理事長として総財務を担当して頂き、組合の全てのことを把握して頂いている。また、健保組合理事長、全鍍連近代化推進委員長という要職を務められている。これからも健康に留意してこの都知事表彰を1つのステップとして益々のご活躍を頂きたい」と祝辞を述べた。

関東鍍金工業厚生年金基金の姫野正弘理事長は「都知事表彰受章を心からお祝い申し上げる。このような盛大な祝賀会を催して頂いた発起人会、実行委員会のみなさまに感謝申し上げます。由田さんと

は、シンガポールに工場進出されて1周年の記念式典の折、たまたま私もお客さんのシンガポール進出に際して見学会に行った時、機内で先代由田社長からお誘いを頂いて記念式典に出席した。これがご縁となって、一昨年、由田現社長がシンガポール工場 25 周年の招待を頂き、喜んで参加させて頂いた。当初、工場進出先としてアメリカなど候補地を回られて、一番美しい国シンガポールに工場を出されたことは先見性があったと思う。シンガポールを中心としてタイ、マレーシア、中国とグローバルに事業を展開されているが、その最初の出発点を決められたのが由田現社長だと伺っている。公私共にお世話になっているが、本日こうしたすばらしい祝賀会が出来て心から喜んでいる。今後も健康に気を付けて我々業界のために益々のお力添えを頂きたい」と祝辞を述べた。

東京都鍍金工業組合はじめ各団体より記念品贈呈、ご子息ご息女からの花束贈呈が行われたあと、由田猛氏は「私の受





章祝賀会を企画して頂いた発起人会、実行委員会のみなさま、ご多忙の中を多数のご出席を頂いたみなさまに感謝申し上げます。私的な話で恐縮だが、父が創業した(株)協和がめっき業を生業として業界でお世話になり、今日にこられたことを感謝している。その所属が城西支部で、この地元が私の活動の原点だと感謝している。城西支部は歴史があり、仲間のみなさんは大変協力的で、私も本部へ出させて頂き、いま副理事長という役職を頂いているが、城西支部がなければ私の私はなかった。本部では大村理事長はじめ副理事長、役員等優秀な人材が集まっており、私もその一員として有り難く光栄に思っている。東京組合の組織とその活動は全国一だと思う。その城西支部のみなさん、本部理事・監事のみなさんにご出席を頂き、また、向島支部の籠利さんにジャズの友誼演奏を頂くことになり、楽しみにしている。本日は次男、長女から花束を頂いたが、長男は(株)協和に入りシンガポールに勤務している。私も健康でみなさんのお役に立てる限り頑張っていく所存でご指導ご支援をお願い申し上げます」と謝辞を述べた。

飯島昭相談役の閉会の辞をもって一部

式典を終了。引き続き二部祝宴に移り、溝口昌範実行委員の司会により、荻宿充久副支部長の開会の辞、来賓として、工業組合の青木治郎専務理事は「由田さんは組合の総財務委員会でご活躍を頂いている。総財務は組合全般にわたることを所管しており、業務が多岐にわたることから事務局との協力関係が濃密であり、事務局を代表して私が祝辞を申し上げることになったと思う。大安吉日の本日を契機としてさらに次のステップへ発展されるよう祈念申し上げます」と祝辞の述べた。

関東めっき健康保険組合の船越久則常務理事は「平成 17 年 7 月から健保理事長に就任され、卓越したリーダーシップを発揮され、私ども職員を温かく、時には厳しくご指導を頂いている。お蔭様で健保を取り巻く環境は大変厳しいものがあるが、由田さんのご指導、みなさんのご協力により財政状況もここ数年黒字で推移している。この場を借りて厚くお礼申し上げます。これからは健康に留意され、ますますのご活躍を祈念申し上げます」と祝辞を述べた。



(ドラムを打つ由田氏)

司会者から来賓紹介、小池百合子内閣補佐官等の祝電披露のあと、川上洋一副

理事長乾杯の発声により祝宴に入った。会場に友誼出演の籠利達郎氏率いるバンドの軽快なジャズミュージックが流れるなか、学生時代にドラムをやっていたという由田氏が飛び入り参加し、ビートルズナンバーを見事に演奏して会場の注目を集めて大きな拍手が送られた。このあとも懇親会は和やかに進み、八幡順一副理事長の万歳三唱、石田義勝副支部長の閉会の辞をもって終了した。

## ＜功績披露＞

### 1. 実業に関する功績

由田猛氏は昭和 19 年生まれ、昭和 42 年立教大学卒業と同時に父親の故由田繁太郎氏が創業した株式会社協和に入社、平成元年 4 月代表取締役社長に就任した。

同社は製品の製造から“めっき”までの一貫生産を経営方針に東京本社を始め群馬県に高崎第 1、第 2 工場、埼玉県に川越工場を展開する表面処理事業所像のパイオニア的存在で、金型の製作、アルミダイカストの鑄造、プラスチックの成形から表面処理加工までの一貫生産を行って企業の発展と同時に地域経済の振興にも貢献している。さらに同社の経営方針は生産拠点の海外展開という経営戦略に飛躍し、昭和 54 年のシンガポール工場設立を発端に、由田氏の時代感覚により平成に入って中国、マレーシア、タイに工場を進出し、海外生産と国内生産による経営安定化を図った経営手腕は高く評価されている。

「現状の部品加工を越え、より加工度を高めた部品の開発と販売を目指し、広く産業界に貢献する」という経営理念の帰趨するところで、堅実な経営と高い技術力が開花したものである。

### 2. 業界経営に関する功績

由田氏の団体歴は、平成 5 年に東京都鍍金工業組合理事に就任以来、現在まで組合役員として積極的に組合運営の中核に参画し、業界基盤の整備と組織的運営の円滑化に情熱を注いでいる。特に平成 11 年からの 2 年間は工業組合常任理事として総財務委員会委員長の要職に就き、不況の下で苦しむ組合員事業所の需要拡大と経営安定化に指導的役割を果たした。さらに平成 13 年から現在に至るまで副理事長として組合が直面するさまざまな問題と課題につき、強いリーダーシップを発揮して業界が向うべき方向に導くなど、業界の将来ビジョン提示に建設的な指導力を発揮している。

なお、平成 7 年から 10 年に東京都鍍金工業組合城西支部支部長に就任、支部員企業の環境対応などにきめ細かい献身的な全力投球で支部員の信頼と敬愛を集め、支部の団結、融和に大きな足跡を残している。また、上部団体の全国鍍金工業組合連合会においても、平成 13 年の理事就任以来積極的に活動を続け、15 年から現在まで常任理事として全国的な経営基盤強化事業や環境重視の観点から ISO 取得の普及などに取り組んでいる。

## 蒙太奇(Men TaiQi)

「蒙太奇」は中国語で Men TaiQi といいます。これは何のことを指しますか、答えは「モンタージュ」のことを指します。

英語の Montage は元々フランス語の「組み立てる」という建築用語からきた言葉で、いまでは世界共通の一般用語として使われています。

Montage は中国語で「蒙太奇」と訳されたのはやはり意味と発音両方から考えていると思います。もやもやして見分けがつかないさまは「蒙」といいますが、「太奇」は中国語で「極めて奇妙なさま」という意味です。「蒙太奇」の漢字を見ると、この意味は分かりやすいでしょう。

モンタージュとは、映画が数百も数千もの短い画面(ショット、あるいはカット)の集成から成っていますが、それらを構成し組み合わせる技術と方法とを、モンタージュとよびます。1925 年、旧ソビエトの監督だったセルゲイ・エイゼンシュテインは彼が監督した映画「戦艦ポチョムキン」にこの蒙太奇技術を使って、そしてそれを理論化したものです。

### 編集後記

金属材料の高騰から、各地で銅線や鉄板、アルミ、ステンレス等の金属製品の盗難が相次いでいる。はじめは電線等の銅線の盗難が多かったようであるが、しだいに側溝の金属、公園のステンレス製車止め、建築現場の鉄板、アルミホイール、アルミ窓枠、フェンス、中には霊園のステンレス製香炉まで持ち去られており、まさに手当たり次第といった感じである。小さな香炉を盗むなら楽だろうが、1 枚 900Kもある鉄板を盗むのは容易なことではないだろうと思う。資源原料のスクラップ市場が高値にあることが背景になっているのであろうが、リサイクル業者で組織する業界団体では盗難品の取扱いに注意するよう呼びかけて対応している。

この金属の高騰から、アメリカの 1 セント硬貨が廃止されるかもしれないというニュースがある。金属価格の高騰で製造コストが額面を上回り、铸つぶされて転売され

る被害が懸念されるからだという。1 セント硬貨の主原料は亜鉛で国際相場は中国、インド等の新興国での需要拡大から急上昇しているという。亜鉛に限らず金属全般が高騰していることが盗難の背景になっており、金属価格が下落するまで盗難は止まらないのかもしれない。

### 広報 3 月号

印刷 平成 19 年 3 月 15 日

発行 平成 19 年 3 月 20 日

(毎月 1 回 20 日発行 第 41 巻第 2 号)

発行所 東京都鍍金工業組合

〒113- 東京鍍金公害防止協同組合

0034 東京都文京区湯島 1-11-10

Te1 03(3814)5621 FAX03(3816)6166

発行責任者 大村 功作

編集責任者 神谷 博行

印刷 スザキ企画 Te1 047(338)1222

〒272-0802 市川市柏井町 2-1419-4

定 価 500 円